

車載型デジタル簡易無線機

IC-D6005

PLUS

HM-206(コマンドマイク)編

この無線機をご使用の際には、総務省総合通信局への無線局の登録申請が必要です。
必ず登録申請をして、登録状が手元に届いてからご使用ください。



HM-206(別売品)接続時の写真です。

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本書は、本製品にHM-206(別売品:コマンドマイク)を接続したとき、使用できる機能と操作について説明した取扱説明書です。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本機の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

HM-206の接続で使用できる機能

◎空きチャンネルサーチ機能(P.7-11)

◎録音/再生機能(P.7-14)

◎GPS機能(P.7-16)

◎ノイズキャンセル機能(P.7-17)

取扱説明書の内容について

◎無線機本体に付属のスピーカーマイク(HM-204)でお使いになる場合の操作については、弊社ホームページに掲載されているIC-D6005取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

◎本書に記載の操作や機能は、お買い上げの販売店であらかじめ設定をご依頼いただくことにより使用できる機能も含まれています。

登録商標/著作権について

アイコム、ICOM、アイコムロゴ、ポケットビーブ、コマンドマイク は、アイコム株式会社の登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。

本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

本製品のフォントは、モリサワのフォントを採用しております。

もくじ

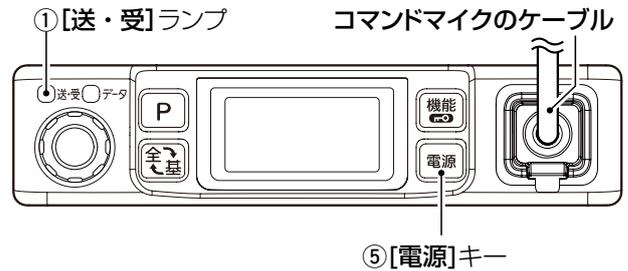
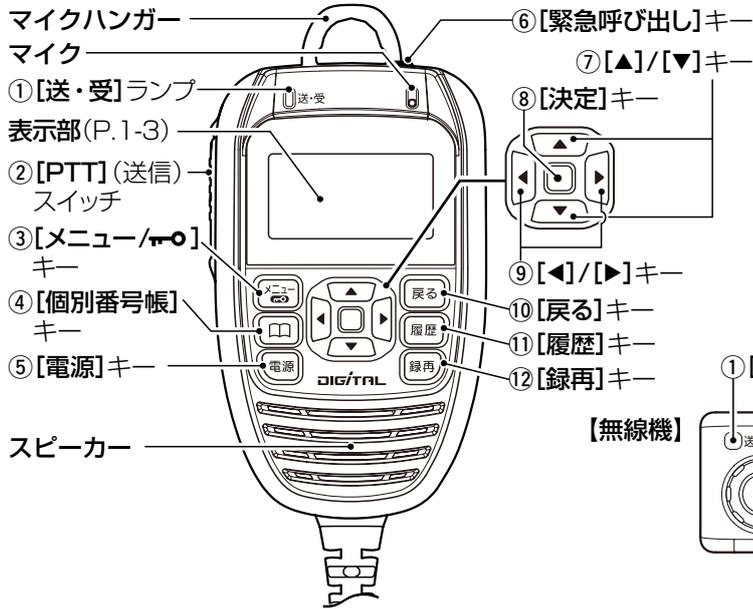
はじめに	i	7.そのほかの機能について	7-1
HM-206の接続で使用できる機能	i	■ ロック機能	7-1
取扱説明書の内容について	i	■ 受信専用機能	7-1
登録商標/著作権について	i	■ モニター機能	7-1
1.各部の名称と機能	1-1	■ ポケットビープ機能	7-1
■ 前面部	1-1	■ 呼び出しメロディー機能	7-2
■ HM-206表示部	1-3	■ 着信表示	7-2
2.電源の入れかたと音量調整	2-1	■ 受信電波強度通知機能	7-2
3.通話のしかた	3-1	■ 送信出力の切り替え機能	7-2
■ 通話するときのアドバイス	3-2	■ ショートメッセージ機能	7-3
4.簡単なグループ通話のしかた	4-1	■ 拡声器機能	7-6
■ ユーザーコードを設定して通話するには	4-1	■ 発着信履歴機能	7-7
■ 通話チャンネル毎にユーザーコードを 設定して通話するには	4-2	■ プライベートチャンネル機能	7-9
5.盗聴防止の設定をするには	5-1	■ プライベートチャンネルスキャン機能	7-9
■ 秘話機能を設定するには	5-1	■ メモリーチャンネルスキャン機能	7-10
■ 秘話機能を使用して通話するには	5-2	■ 空きチャンネルサーチ機能	7-11
6.個別呼び出し機能による通話	6-1	■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー)	7-12
■ 呼び出しかたの種類について	6-1	■ 録音/再生機能	7-14
■ 個別呼び出し機能を設定するには	6-2	■ GPS機能	7-16
■ 個別呼び出し機能で通話するには	6-4	■ ノイズキャンセル機能	7-17
		8.各種機能の設定	8-1
		■ 設定一覧	8-1
		■ 設定モードに移行するには	8-1
		■ 詳細設定モードに移行するには	8-2
		■ 設定のしかた	8-2
		■ 設定項目について	8-3
		9.初期状態に戻す(リセットする)には	9-1

1

各部の名称と機能

■ 前面部

[コマンドマイク :HM-206]



★印の機能は、お買い上げの販売店で設定されている場合だけ、動作します。

①	<p>[送・受] ランプ 緑色に点灯: 受信中 赤色に点灯: 送信中 橙色に点滅: 着信時★</p>
②	<p>[PTT] (送信) スイッチ 押しているあいだは送信状態、はなすと待ち受け状態に切り替わります。</p>
③	<p>[メニュー/ON] キー ◎短く押すと、メニュー画面を表示します。 ◎長く押すごとに、ロック機能を「ON」/「OFF」します。(P.7-1)</p>
④	<p>[個別番号帳] キー ◎個別呼び出し機能が設定されている場合、押すごとに、全体/基地/個別/グループ番号を選択する画面に切り替わります。(P.6-4) ◎個別番号、またはグループ番号の選択は、[▲]/[▼] キーで選択します。</p>
⑤	<p>[電源] キー 長く(約1秒)押すごとに、電源を「入」/「切」します。</p>
⑥	<p>[緊急呼び出し] キー★ 緊急呼び出し機能が設定されている場合、長く(5秒以上)押すと、緊急呼び出しを開始します。(P.7-13)</p>
⑦	<p>[▲]/[▼] キー 通話チャンネル番号、個別番号、グループ番号、発信履歴、着信履歴、録音履歴、ショートメッセージ★などを選択します。</p>

⑧	<p>[決定] キー 押すと、選択した内容を確定します。</p>
⑨	<p>[◀]/[▶] キー ◎押すと、音量が変わります。 ◎メニュー画面などで、1つ下の階層に進むときは[▶] キー、1つ上の階層に戻るときは[◀] キーを押します。</p>
⑩	<p>[戻る] キー ◎メニュー画面、着信/発信/録音履歴を表示する画面などで、短く押すと、1つ上の階層に戻ります。 ◎通話後、短く押すと、強制的に終話します。</p>
⑪	<p>[履歴] キー ◎短く押すごとに、着信/発信/録音履歴を表示する画面に切り替わります。 ◎ショートメッセージを発信、または受信した場合は、[▲]/[▼] キーで発信、または着信履歴を選択して、[▶] を押すと内容を確認できます。 ◎録音/再生機能が設定されている場合は、[▲]/[▼] キーで録音履歴を選択して、[▶] を押すと内容を再生します。</p>
⑫	<p>[録再] キー ◎短く押すごとに、発信音声、および着信音声の録音一時停止と再開が切り替わります。 ◎長く押すと、最新の録音内容が再生されます。</p>

(次ページにつづく)

1 各部の名称と機能

■ 前面部(つづき)

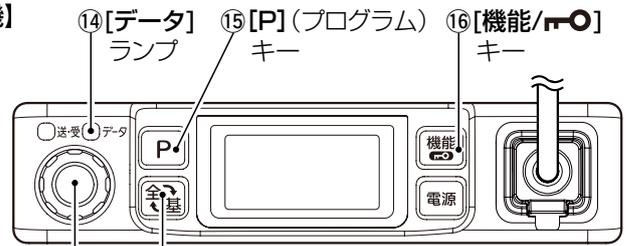
【コマンドマイク：HM-206】

後面部



⑬ノイズキャンセル機能用マイク

【無線機】



⑭ツマミ ⑮[全ご基]キー

★印の機能は、お買い上げの販売店で設定されている場合だけ、動作します。

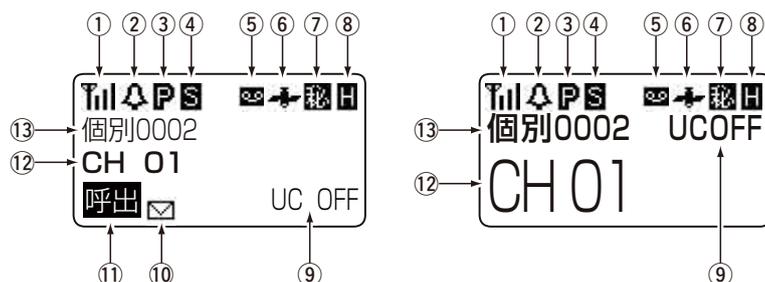
⑬	<p>ノイズキャンセル機能用マイク 周囲のノイズを検出するために使用します。ノイズキャンセル機能が設定されているとき、このマイクから入った周囲のノイズを使用して、前面部のマイクから入った周囲のノイズを打ち消します。設定されているときは、通話する音声に含まれる低音域のノイズの軽減に効果があります。</p>
⑭	<p>[データ]ランプ★ 橙色に点灯：データ通信で送信、または受信中</p>
⑮	<p>[P] (プログラム) キー 下記は、工場出荷時やユーザーリセット時の動作です。 ◎短く押すと、コマンドマイク(HM-206)の表示が通話チャンネル表示に戻ります。 無線機本体の表示は、変化しません。 ◎押しているあいだは、モニター機能が動作します。 (P.7-1) ※モニター機能とは、音を聞きながら音量を調整するとき、またはユーザーコードが異なる他局の通話や秘話機能を使用しない他局の通話を聞くときに使用します。 ※モニター機能は、ロック機能(P.7-1)動作中でも使用できます。 ※詳細設定モードから、[P] (プログラム) キーを短く押したときと、長く押したときに動作する機能を変更できます。(P.8-2、P.8-7)</p>

⑯	<p>[機能/電源] キー コマンドマイク(HM-206)が接続されているときは、動作しません。</p>
⑰	<p>[全ご基] キー コマンドマイク(HM-206)が接続されているときは、動作しません。</p>
⑱	<p>ツマミ 音量が変わります。</p>

1 各部の名称と機能

■ HM-206表示部

待ち受け中、⑨、⑫、⑬は、文字サイズの設定により、右図のどちらかの大きさで表示されます。



★印の表示は、お買い上げの販売店で設定されている場合だけ、表示されます。

①		受信している電波の強度を、下図の3段階(目安)で表示します。 弱 中 強 ※「↑」は、電源が入っているときは常に表示されています。	⑧		各通話チャンネルの送信出力(High/Low)設定を表示します。 5Wのときに表示します。	
②		ポケットビーブ機能が設定されているとき表示します。(P.7-1) 呼び出しを受けると、点滅します。			1Wのときに表示します。	
③		Pベル機能(P.8-3)が設定されているときに表示します。			送信禁止チャンネルを選択したときに表示します。	
④		プライベートチャンネルスキャン機能(P.7-9)、メモリーチャンネルスキャン機能(P.7-10)、空きチャンネルサーチ機能(P.7-11)のいずれかが動作中に点滅します。	⑨	UC OFF	各通話チャンネルのユーザーコード設定を表示します。 OFF(000) :ユーザーコードなし 001~511 :ユーザーコードあり	
⑤		再生できる音声、コマンドマイク(HM-206)に録音されているときに表示します。	⑩★		ショートメッセージを送信、または受信したときに表示します。 (P.7-3)	
		発信音声、および着信音声の録音中に点滅します。		⑪		個別呼び出し機能で通話中に表示します。 (P.6-1) また、全体/グループ呼び出しで送信や着信したときにも表示します。
		発信音声、および着信音声の録音を一時停止させたときに表示します。				個別/基地局呼び出しで送信したときに表示します。
⑥★		コマンドマイク(HM-206)に内蔵されたGPSレシーバーの受信状態を表示します。 消灯 :GPS機能(P.7-16)を使用していないとき 点滅 :自局の位置情報を受信(測位)中 点灯 :自局の位置情報の測位が完了	⑫	CH (例:CH 01)	待ち受け状態のとき、通話チャンネル番号を表示します。 ※お買い上げの販売店で名称表示が設定されている場合は、通話チャンネル番号の代わりに設定された名称を表示します。	
		⑬		個別 (例:個別 0002)	個別呼び出し機能が設定されているときは、個別呼び出しの選択状態(全体/基地/個別/グループ)と、選択した個別番号、基地局番号、グループ番号を表示します。 ※お買い上げの販売店で名称表示が設定されている場合は、個別番号、基地局番号、グループ番号の代わりに設定された名称を表示します。	

1 電源を入れる

[電源]キーを長く(1秒以上)押します。

- 「ピー」と鳴り、選択されている通話チャンネル番号を読み上げます。



ICOM
IC-D6005
起動コメント表示

自局0001
自局番号の表示例

UCOFF
CH 01
通話チャンネル表示例

【自局番号の表示について】

個別呼び出し機能(P.6-1)が設定されているときだけ、表示されます。

なお、自局番号に名称が設定されている場合は、その自局番号の代わりに、名称が表示されます。

【名称表示とコマンドマイクの文字サイズについて】

通話チャンネル番号、個別番号の代わりに、名称を表示させたり、コマンドマイク(HM-206)の表示文字サイズを変更(初期設定:大)したりできます。

※変更は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

※文字サイズを「小」に変更することで、全角7文字(半角14文字)まで表示できます。

下図の表示は、個別呼び出し機能をONに設定したときの個別番号名称(食品倉庫、食品倉庫他局02)と通話チャンネル番号名称(営業連絡、営業連絡用CH)の表示例です。

UCOFF
食品倉庫
営業連絡

文字サイズ:大

UC OFF
食品倉庫他局02
営業連絡用CH

文字サイズ:小

※無線機本体の表示文字サイズは、変更できません。

無線機本体の名称表示は、全角4文字(半角8文字)までです。

※お買い上げの販売店で外字が設定されている場合、HM-206(コマンドマイク)を接続したときは、外字を無線機とコマンドマイクに表示できません。

2 音量を調整する

[◀]/[▶]キーを押すと、音量を調整できます。

相手の音声聞きやすい音量レベルに調整してください。

- 0~32の範囲で調整します。



音量: 20
— [Progress Bar] +

音量表示(表示例:20)

【ご注意】

音量が最小のときは、操作音(ピーブ音)や警告音、通話チャンネル番号案内の音声や受信した音声などは、聞こえません。

【ご参考】チャンネル番号音声案内機能について

電源を入れたときや、チャンネル番号を変更したとき、選択された通話チャンネル番号を読み上げます。

※使用しないときは、詳細設定モードの[チャンネル番号音声案内]項目で設定を「OFF」にできます。

(P.8-9)

相手と同じ通話チャンネルに合わせるだけの非常に簡単な通話のしかたについて説明しています。

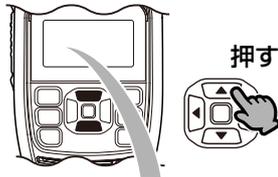
1 通話チャンネルを合わせる

【▲】/【▼】キーを押して、通話相手と同じ通話チャンネルを選択します。

●選択範囲:

CH 01～CH 14、
CH 16～CH 82

※通話チャンネルの上限(例: CH 01)、または下限(例: CH 82)を選択したときは、「ピピッ」と鳴ります。



通話チャンネルの選択(例:CH 01)

【呼出用チャンネルについて】

呼出用チャンネル(CH15)は、「呼出CH」と表示されます。

このチャンネルは、一時的な呼び出しにだけ使用しますので、グループ通話(P.4-1)や秘話機能(P.5-1)、個別呼び出し機能(P.6-1)による通話に使用できません。

「呼出CH」で呼び出した相手と通話をつづける場合は、空いている通話チャンネル(CH 01～CH 14、CH 16～CH 82)に変更してから通話してください。



呼出用チャンネル表示

2 呼び出しをする(送信する)

【ご注意】

【送・受】ランプが緑色に点灯しているときは、音声聞こえなくても、ほかの無線局が通話していることがあります。

この状態で、【PTT】(送信)スイッチを押しても、混信防止(キャリアセンス)機能(P.3-2)が動作して、送信できないようになっています。

※【送・受】ランプが消灯していることを確認してから、送信してください。

消灯を確認



【PTT】(送信)スイッチを押しながら、マイクに向かって、通話相手に呼びかけます。

●【PTT】(送信)スイッチを押しているあいだは、【送・受】ランプが赤色に点灯します。

赤色に点灯
押しつづける



送信中の表示(例:CH01)

3 呼び出しを受ける(受信する)

【PTT】(送信)スイッチをはずすと待ち受け状態になります。

◎待ち受け状態のときは、【送・受】ランプが消灯しています。

◎電波を受信中は、【送・受】ランプが緑色に点灯します。

緑色に点灯

電波状態



受信中の表示(例:CH01)

※ 音声聞こえなくても、ほかの無線局が通話しているときは、【送・受】ランプが緑色に点灯します。

【応答するとき】

【送・受】ランプが消灯し、待ち受け状態になってから、【PTT】(送信)スイッチを押します。

3 通話のしかた

■ 通話するときのアドバイス

1. 送信時間制限装置について

1回の送信で連続して通話できる時間は、「5分以内」と電波法で定められています。

制限時間の10秒前になると、「ピッ」と鳴ります。

連続通話時間が5分になると、警告音が「ブッ」と鳴って、自動的に送信を停止します。

※送信を自動停止すると、1分間は通話できません。

通話を再開する場合は、1分後に[PTT] (送信) スイッチを押してください。

2. 混信防止(キャリアセンス)機能について

無線局の運用では、同じ通話チャンネルで自分が送信中のときにほかの人が送信すると混信を受け通話ができない場合があります。

また、逆にほかの人が通話中のチャンネルで送信すると、その通話を妨害することになります。

このような混信を防止するために、同じチャンネルで一定レベルの電波を本製品が受信している場合は、通話中とみなし、送信できないよう、自動的に制御する機能をキャリアセンスといいます。

キャリアセンスは、本製品が送信を開始するときに動作します。

3秒以上通話が途切れた場合、本製品が通話を終了したと判断し、次の送信開始時からキャリアセンスの機能が動作します。

なお、ほかの電子機器からの電波を受信した場合(混信や妨害波を含む)についてもキャリアセンスが動作し送信できないことがあります。故障ではありません。

本製品は、電波法によりこのキャリアセンスの搭載が義務付けられています。

3. 電波干渉について

比較的せまいエリアで、多くの局が通話するような状態では、電波の干渉(相互変調)による混信が発生することがあります。

このような混信は、グループごとに通話チャンネルの組み合わせを適切に設定することで防止できます。

4. 通話範囲について

周囲の状況(天候、山や建物などの障害物)により、受信しにくくなる場合があります。

◇通話範囲は、周囲の建物などの状況により異なりますので、下記の数値を目安に通話してください。

(送信出力:5W時)

見通しのよい場所 : 約1~10km

市街地や建物内 : 約1~3km

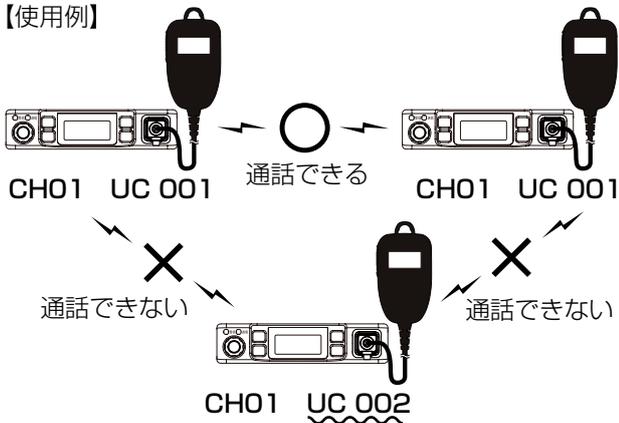
◇通話範囲であっても、山や建物などが障害物となつて、通話しにくくなる場合があります。

そのときは、場所を少し移動して通話してください。

また、テレビやラジオなどの家電製品、パソコン、および電話機などの近くで使用すると、雑音が発生したり、誤動作したりすることがありますので、はなれてご使用ください。

複数の通話相手と同じユーザーコード(UC)を設定するだけで、通話グループが簡単に構成できます。通話チャンネル(P.3-1)とユーザーコードが一致したすべての相手と通話できます。

【使用例】



※秘話機能や個別呼び出し機能とも併用できます。

【「呼出CH」選択時のご注意】

「呼出CH」(呼出用チャンネル: CH15) 選択時は、ユーザーコードを使用できないため、本章の操作はできません。



呼出用チャンネル表示

【ご参考】ユーザーコードの設定方法変更について

通話チャンネル(CH 01～CH 14、CH 16～CH 82)ごとに異なるユーザーコードを使用する場合は、「■ 通話チャンネル毎にユーザーコードを設定して通話するには」(P.4-2)でユーザーコードの設定を変更してください。

■ ユーザーコードを設定して通話するには

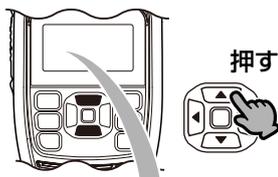
ユーザーコードを000から001に変更することを例に、操作手順を説明します。

1 通話チャンネルを合わせる

【▲】/【▼】キーを押して、通話相手と同じ通話チャンネルを選択します。

●選択範囲:

CH 01～CH 14、
CH 16～CH 82



通話チャンネルの選択
(例:CH 01)

2 ユーザーコードを設定する

①【メニュー/Ⓜ】キーを短く押します。

●メニュー画面が表示されます。



②【決定】キーを押します。

●ユーザーコードの設定状態が表示されます。



③【個別番号帳】キーを押します。

●ユーザーコードの数字が白黒反転表示になり、編集できる状態になります。



④【▶】キーを2回押します。

●編集できる桁(白黒反転表示)が右端に移動します。



⑤【▲】/【▼】キーを押して、ユーザーコードを設定します。(例:001)

●選択範囲:OFF(000)、001～511



⑥【決定】キーを押します。

●ユーザーコードの変更が確定されます。



⑦【戻る】キーを2回押します。

●通話チャンネル表示に戻ります。



ユーザーコード(例:001)

4 簡単なグループ通話のしかた

■ ユーザーコードを設定して通話するには
(つづき)

3 呼び出しをする(送信する)

【ご注意】

【送・受】ランプが緑色に点灯しているときは、音声が聞こえなくても、ほかの無線局が通話していることがあります。

この状態で、【PTT】(送信)スイッチを押しても、混信防止(キャリアセンス)機能(P.3-2)が動作して、送信できないようになっています。

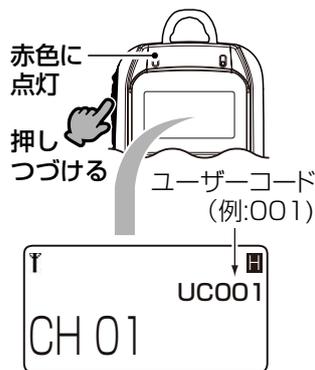
※【送・受】ランプが消灯していることを確認してから、送信してください。

消灯を確認



【PTT】(送信)スイッチを押しながら、マイクに向かって、通話相手に呼びかけます。

●【PTT】(送信)スイッチを押しているあいだは、【送・受】ランプが赤色に点灯します。



送信中の表示(例:CH01)

4 呼び出しを受ける(受信する)

【PTT】(送信)スイッチをはなすと、待ち受け状態になります。

○待ち受け状態のときは、【送・受】ランプが消灯しています。

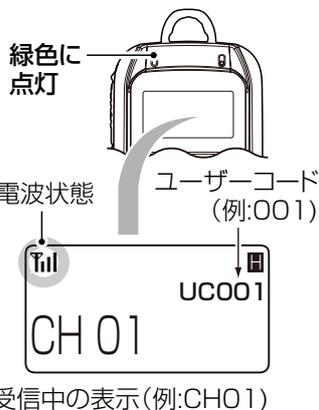
○電波を受信中は、【送・受】ランプが緑色に点灯します。

※音声が聞こえなくても、ほかの無線局が通話しているときは、

【送・受】ランプが緑色に点灯します。

【応答するときは】

【送・受】ランプが消灯して、待ち受け状態になってから、【PTT】(送信)スイッチを押します。



受信中の表示(例:CH01)

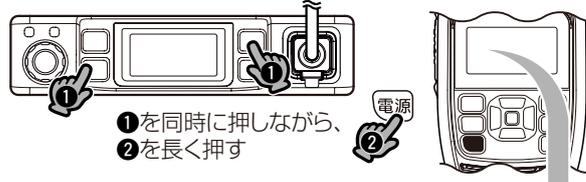
■ 通話チャンネル毎にユーザーコードを設定して通話するには

通話チャンネルごとに異なるユーザーコードを使用できます。CH04のユーザーコードを000から002に変更することを例に、操作手順を説明します。

1 詳細設定モードにする

① 本製品の電源を切ります。

② 【全⇄基】キーと【機能/電源】キーを同時に押しながら、【電源】キーを押しつづけます。



①を同時に押しながら、
②を長く押し

③「詳細設定」と表示され、「ピッ」と鳴ったら、すべてのキーから手をはなします。

※ 詳細設定モードに移行しているときは、呼び出しを受信できません。

詳細設定

2 ユーザーコードで「チャンネル毎」を選択する

① 【▲】/【▼】キーを繰り返し押して、「ユーザーコード」を選択します。



② 【決定】キーを押します。



③ 【▲】/【▼】キーを繰り返し押して、「チャンネル毎」を選択します。



④ 【決定】キーを押します。

●「チャンネル毎UC」が表示されます。



4 簡単なグループ通話のしかた

■ 通話チャンネル毎にユーザーコードを設定して通話するには(つづき)

3 ユーザーコードを設定する

- ①【▲】/【▼】キーを繰り返し押し、「チャンネル毎UC」を選択します。



- ②【決定】キーを押します。

- チャンネル番号とユーザーコードが表示されます。



- ③【▲】/【▼】キーを繰り返し押し、チャンネル番号を選択します。(例:CH 04)

- 選択範囲:CH 01~CH 14、CH 16~CH 82



- ④【個別番号帳】キーを押します。

- ユーザーコードの数字が白黒反転表示になり、編集できる状態になります。



- ⑤【▶】キーを2回押します。

- 編集できる桁(白黒反転表示)が右端に移動します。



- ⑥【▲】/【▼】キーを押して、ユーザーコードを設定します。(例:002)

- 選択範囲:OFF(000)、001~511



- ⑦【決定】キーを押します。

- ユーザーコードの設定が確定されます。



※ほかのチャンネル番号のユーザーコードも編集するときは、③~⑦を繰り返します。

※【戻る】キーを押すと、手順①の画面に戻ります。

4 選択した設定を有効にする

【PTT】(送信)スイッチを押します。

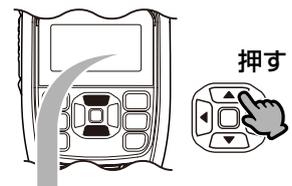
- 詳細設定モードが解除され、ユーザーコードが変更されます。



5 通話チャンネルを合わせる

【▲】/【▼】キーを押して、通話相手と同じ通話チャンネルを選択します。

- 選択範囲:
CH 01~CH 14、
CH 16~CH 82



ユーザーコードが設定された通話チャンネルの選択
(例:CH 04、UC002)

4 簡単なグループ通話のしかた

- 通話チャンネル毎にユーザーコードを設定して通話するには(つづき)

6 呼び出しをする(送信する)

【ご注意】

【送・受】ランプが緑色に点灯しているときは、音声は聞こえなくても、ほかの無線局が通話していることがあります。

この状態で、【PTT】(送信)スイッチを押しても、混信防止(キャリアセンス)機能(P.3-2)が動作して、送信できないようになっています。

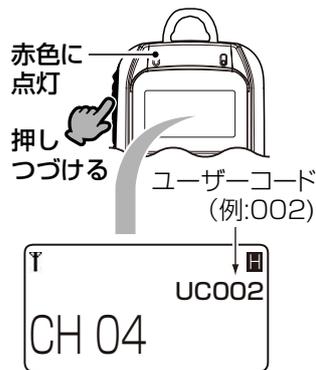
※【送・受】ランプが消灯していることを確認してから、送信してください。

消灯を確認



【PTT】(送信)スイッチを押しながら、マイクに向かって、通話相手に呼びかけます。

- 【PTT】(送信)スイッチを押しているあいだは、【送・受】ランプが赤色に点灯します。



送信中の表示(例:CH04)

7 呼び出しを受ける(受信する)

【PTT】(送信)スイッチをはなすと、待ち受け状態になります。

◎待ち受け状態のときは、【送・受】ランプが消灯しています。

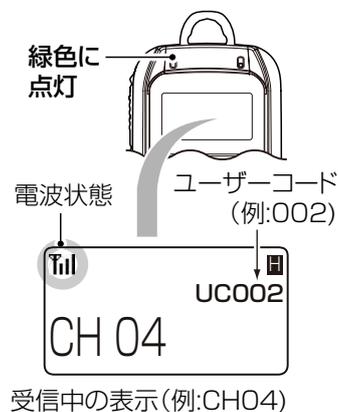
◎電波を受信中は、【送・受】ランプが緑色に点灯します。

※音声は聞こえなくても、ほかの無線局が通話しているときは、

【送・受】ランプが緑色に点灯します。

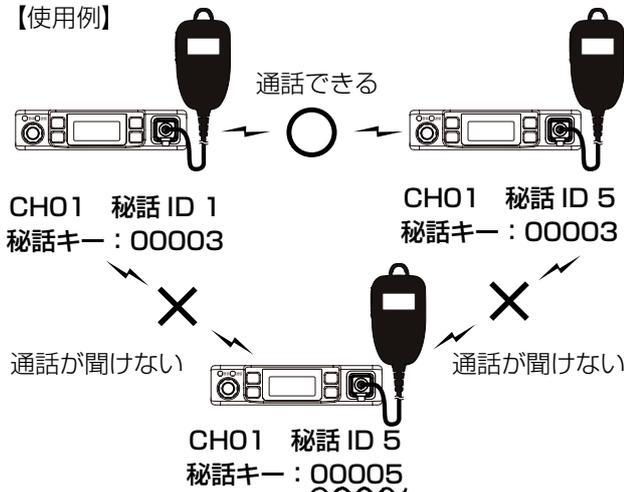
【応答するとき】

【送・受】ランプが消灯して、待ち受け状態になってから、【PTT】(送信)スイッチを押します。



秘話機能を使用すると、ほかの相手に通話内容が傍受されるのを防止できます。
通話チャンネルと秘話IDに設定された秘話キーが一致した相手と通話できます。

【使用例】



※ 秘話ID(1~20)ごとに異なる秘話キー(00001~32767)を設定できます。

※ 秘話キーが同じ相手であれば、秘話IDが異なる場合でも通話できます。

※ ユーザーコードや個別呼び出し機能とも併用できます。

【「呼出CH」選択時のご注意】

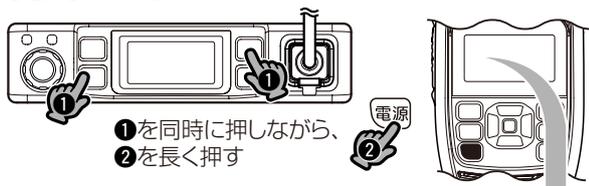
「呼出CH」(呼出用チャンネル:CH15)を選択したときは、設定した秘話機能が無効になります。

■ 秘話機能を設定するには

この章の説明で使用する設定値は、上図の【使用例】に記載の値を使用しています。

1 詳細設定モードにする

- ① 本製品の電源を切ります。
- ② **[全基]**キーと**[機能/電源]**キーを同時に押しながら、**[電源]**キーを押しつづけます。



- ③ 「**詳細設定**」と表示され、「**ビピッ**」と鳴ったら、すべてのキーから手をはなします。
- ※ 詳細設定モードに移行しているときは、呼び出しを受信できません。



【ご注意】

機密を要する重要な通話にご使用になることは、おすすめできません。

また、無線機間の通話は、電波を使用している関係上、第三者による盗聴を完全に阻止できませんので、ご注意ください。

2 秘話 IDを選択する

- ① **[▲]/[▼]**キーを繰り返し押し、「秘話」を選択します。
- ② **[決定]**キーを押します。
- ③ **[▲]/[▼]**キーを繰り返し押し、秘話IDを選択します。
 - 選択範囲: OFF、キーID1 ~ キーID20



秘話ID選択時の表示
(例:キーID1)

3 秘話キーを設定する

- ① **[個別番号帳]**キーを押します。
 - キーID1の秘話キーを編集する画面が表示されます。
- ② **[▲]/[▼]**キーを繰り返し押し、秘話キーを選択します。
 - 選択範囲:00001~32767
 - ※ 編集する桁を移動するときは、**[◀]/[▶]**キーを短く押します。
- ③ **[決定]**キーを押します。
 - 秘話キーが確定されます。
- ④ **[決定]**キーを押します。
 - 秘話IDが確定されます。



秘話キー編集時の表示
(例:00003)



秘話ID確定時の表示
(例:キーID1)

4 選択した設定を有効にする

[PTT](送信)スイッチを押します。

- 詳細設定モードが解除され、秘話機能の設定が有効になります。



秘話機能設定時の表示
(例:CH 01)

5 盗聴防止の設定をするには

■ 秘話機能を使用して通話するには

秘話機能を使用して通話をする手順です。

※5-1ページで、秘話IDに設定した秘話キーを下記で選択した通話チャンネルに使用できます。

1 通話チャンネルを合わせる

[▲]/[▼]キーを押して、通話相手と同じ通話チャンネルを選択します。

●選択範囲:

CH 01～CH 14、
CH 16～CH 82



2 呼び出しをする(送信する)

【ご注意】

[送・受]ランプが緑色に点灯しているときは、音声聞こえなくても、ほかの無線局が通話していることがあります。

この状態で、[PTT] (送信)スイッチを押しても、混信防止(キャリアセンス)機能(P.3-2)が動作して、送信できないようになっています。

※[送・受]ランプが消灯していることを確認してから、送信してください。

消灯を確認



[PTT] (送信)スイッチを押しながら、マイクに向かって、通話相手に呼びかけます。

●[PTT] (送信)スイッチを押しているあいだは、[送・受]ランプが赤色に点灯します。

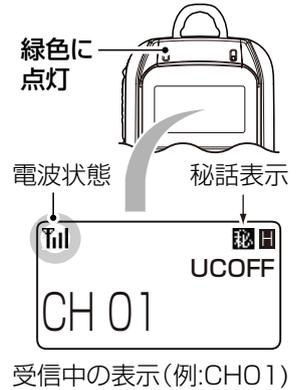


3 呼び出しを受ける(受信する)

[PTT] (送信)スイッチをはずすと、待ち受け状態になります。

◎待ち受け状態のときは、[送・受]ランプが消灯しています。

◎電波を受信中は、[送・受]ランプが緑色に点灯します。



※ 音声聞こえなくても、ほかの無線局が通話しているときは、[送・受]ランプが緑色に点灯します。

※ 他局が自分と異なる秘話キーを使用している場合は、秘話処理された電子音が聞こえます。

【応答するときは】

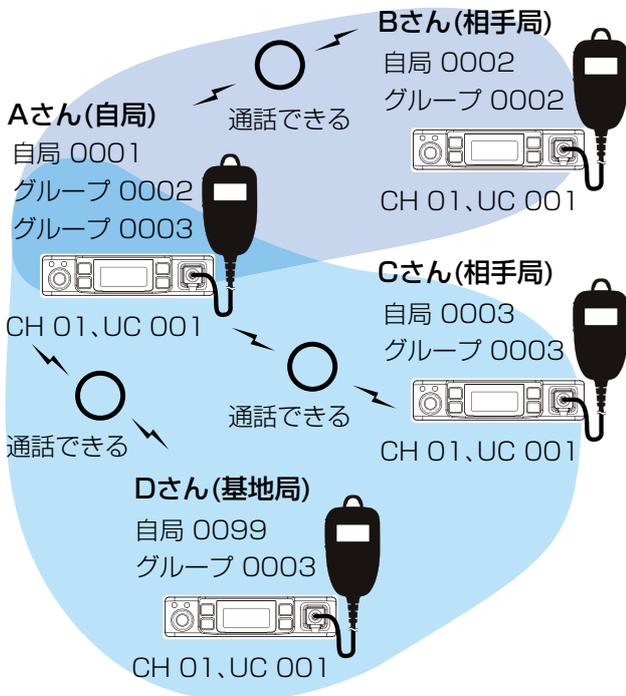
[送・受]ランプが消灯して、待ち受け状態になってから、[PTT] (送信)スイッチを押します。

■ 呼び出しのかたの種類について

個別呼び出しの種類について、下図を例に説明します。

【使用例】

下図の   は、Aさん(自局)が呼び出しできるグループを意味します。



※ グループ呼び出しで着信させるには、あらかじめ、目的のグループ番号にメンバー指定の設定が必要です。相手側でメンバー指定されていないグループ番号に呼び出しをしても、着信しません。(P.6-3)

【「呼出CH」表示での機能制限について】

呼出用チャンネル(CH15)は、「呼出CH」と表示されます。このチャンネルは、一時的な呼び出しにだけ使用しますので、グループ通話(P.4-1)や秘話機能(P.5-1)、個別呼び出し機能(P.6-1)による通話に使用できません。



呼出用チャンネル表示

呼び出しのかたには、次の4種類の方法があります。

◎全体呼び出し



全体呼び出し表示(例:CH01)

通話チャンネル(例:CH 01)とユーザーコード(例:UC 001)が同じ相手局(例:Bさん/Cさん/Dさん)を一斉に呼び出します。

◎基地局呼び出し



基地局呼び出し表示(例:CH01)

通話チャンネル(例:CH 01)とユーザーコード(例:UC 001)が同じで、呼び出す基地局(例:Dさん)の自局番号(例:0099)を指定して呼び出します。

◎個別呼び出し



個別呼び出し表示(例:CH01)

通話チャンネル(例:CH 01)とユーザーコード(例:UC 001)が同じで、呼び出す相手局(例:Bさん)の自局番号(例:0002)を指定して呼び出します。

◎グループ呼び出し



グループ呼び出し表示(例:CH01)

通話チャンネル(例:CH 01)とユーザーコード(例:UC 001)が同じで、メンバー指定されたグループ番号(例:0003)に所属するすべての相手(例:Cさん/Dさん)を呼び出します。

★同じグループ番号で、そのグループ番号にメンバー指定を設定している受信局だけが、送信局からの音声を聞けます。

メンバー指定の変更は、詳細設定モードから設定できます。

6 個別呼び出し機能による通話

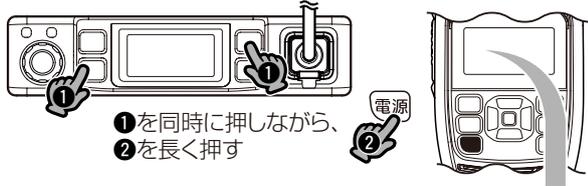
■ 個別呼び出し機能を設定するには

通話に使用するすべての無線機で設定が必要です。

※説明で使用する設定値は、6-1ページの【使用例】に記載の値を使用しています。

1 詳細設定モードにする

- ① 本製品の電源を切ります。
- ② [全⇄基]キーと[機能/電源]キーを同時に押しなが、[電源]キーを押しつづけます。



- ③ 「詳細設定」と表示され、「ピピッ」と鳴ったら、すべてのキーから手をはなします。
- ※ 詳細設定モードに移行しているときは、呼び出しを受信できません。



2 個別呼び出し機能を「ON」にする

- ① [▲]/[▼]キーを繰り返し押しして、「個別呼出」を選択します。
- ② [決定]キーを押します。
- ③ [▲]/[▼]キーを繰り返し押しして、「ON」を選択します。
- ④ [決定]キーを押します。



※ 個別呼び出し機能で使用するすべての無線機(使用例: Aさん/Bさん/Cさん/Dさん)に設定してください。

3 自局番号を設定する

自局番号とは、自分が個別呼び出しを受けるための番号です。

- ① [▲]/[▼]キーを繰り返し押しして、「自局番号」を選択します。
- ② [決定]キーを押します。
- ③ [▲]/[▼]キーを繰り返し押しして、自局番号を選択します。
 - 選択範囲: 個別0001～個別0245
- ④ [決定]キーを押します。



自局番号表示
(例: 個別0001)

【設定例】

個別呼び出し機能で使用するすべての無線機(使用例: Aさん/Bさん/Cさん/Dさん)に設定してください。

Aさん(自局) : 0001 Bさん(相手局) : 0002
Cさん(相手局) : 0003 Dさん(基地局) : 0099

4 基地局番号を設定する

基地局番号とは、基地局として指定された局の番号です。

- ① [▲]/[▼]キーを繰り返し押しして、「基地局番号」を選択します。
- ② [決定]キーを押します。
- ③ [▲]/[▼]キーを繰り返し押しして、基地局番号を選択します。
 - 選択範囲: 個別0001～個別0245
- ④ [決定]キーを押します。



基地局番号表示
(例: 個別0099)

6 個別呼び出し機能による通話

■ 個別呼び出し機能を設定するには(つづき)

5 グループ呼び出しを設定する

ここで指定したグループ番号の相手から呼び出しがあったとき、着信を許可するグループ番号を指定します。

① **[▲]/[▼]**キーを繰り返し押し続けて、「グループ設定」を選択します。



② **[決定]**キーを押します。

③ **[▲]/[▼]**キーを繰り返し押し続けて、指定するグループ番号を選択します。



- 選択範囲: グ0001～グ0010

④ 選択したグループ番号(例: グ 0002)を表示した状態で、**[決定]**キーを押します。



メンバー指定の状態

- メンバー指定を意味する「■」を表示します。
※ 複数のグループからの呼び出しを受けるときは、③と④の操作を繰り返します。

【メンバー指定するグループ番号の例】

グループ呼び出しで使用するすべての無線機(使用例:Aさん/Bさん/Cさん/Dさん)にメンバー指定してください。

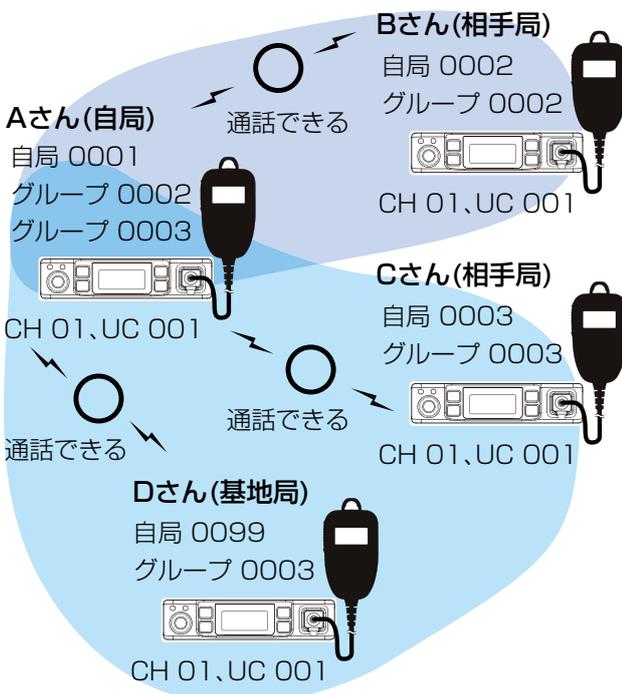
Aさん(自局) : グループ0002/グループ0003

Bさん(相手局) : グループ0002

Cさん(相手局) : グループ0003

Dさん(基地局) : グループ0003

図の ■■■ は、Aさん(自局)が呼び出しできるグループを意味します。



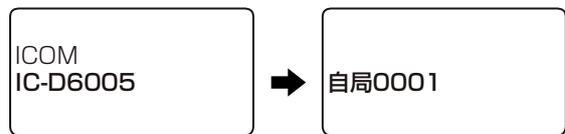
6 変更した設定値を確定する

2～5 のステップで変更した設定値を確定するために、**[PTT]**(送信)スイッチを押します。



- 詳細設定モードが解除され、「IC-D6005」が表示されたあと、設定した自局番号(約1秒)が表示されます。

【自局番号表示例】



電源投入直後

自局番号の表示例

※ 自局番号表示後に表示される内容は、電源を切る前の表示(通話チャンネル/個別番号/グループ番号)によって異なります。

6 個別呼び出し機能による通話

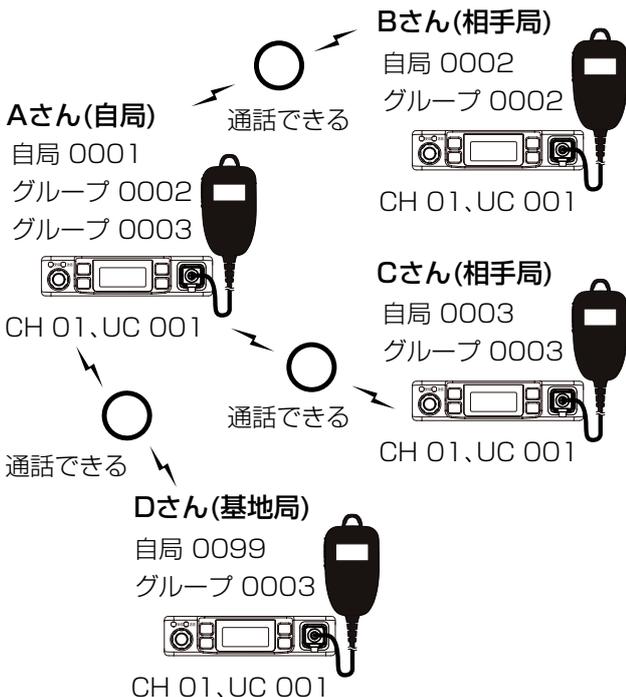
■ 個別呼び出し機能で通話するには

個別番号(相手の自局番号)やグループ番号を指定して相手局と通話する方法について、説明します。

※ 個別呼び出し機能がすべての無線機に設定(P.6-2～P.6-3)されているものとして説明しています。

【Aさんから呼び出す場合の使用例】

通話チャンネル番号と、呼び出す相手(全体/基地/個別/グループ番号)を選択してから送信します。

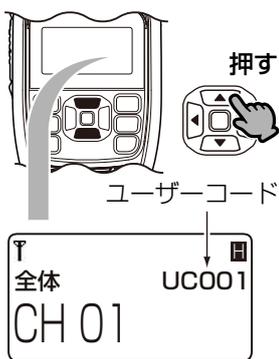


1 通話チャンネルを合わせる

【▲】/【▼】キーを押して、通話相手と同じ通話チャンネルを選択します。

(表示例: 全体呼び出し)

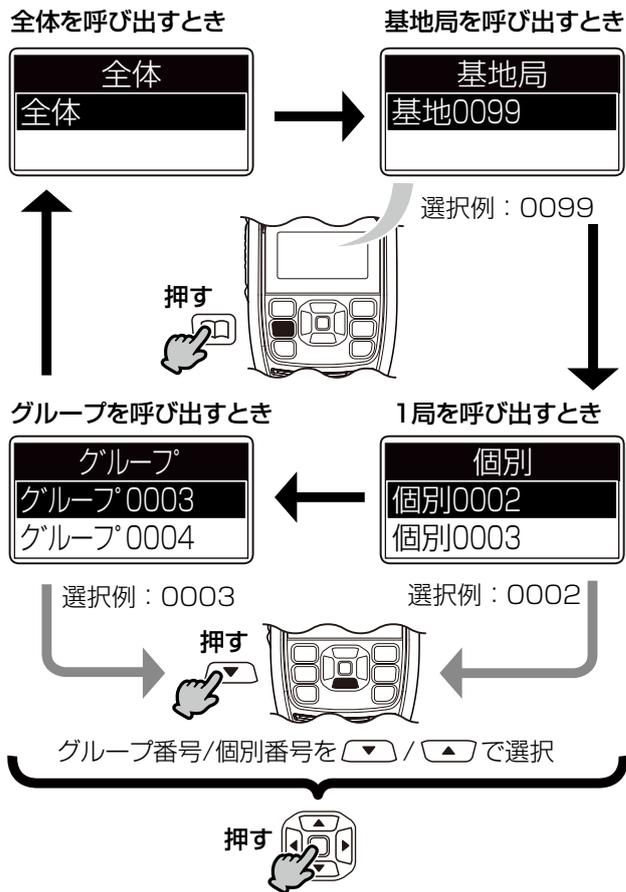
※ 選択した通話チャンネルで表示されるユーザーコードと異なる相手とは、通話できません。



ユーザーコードが設定された通話チャンネルの選択
(例: CH 01、UC001)

2 全体/基地/個別/グループ番号の選択

① 下記の操作で、呼び出す相手を選択します。



② 選択されていることを確認します。

◎ 全体を選択した場合

「全体」表示



◎ 基地局を選択した場合

「基地」表示

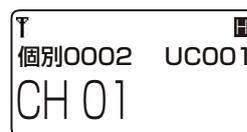
(例: 基地0099)



◎ 1局(個別)を選択した場合

「個別」表示

(例: 個別0002)



◎ グループ番号を選択した場合

「グループ」表示

(例: グ 0003)



6 個別呼び出し機能による通話

■ 個別呼び出し機能で通話するには(つづき)

3 呼び出しをする(送信する)

【ご注意】

【送・受】ランプが緑色に点灯しているときは、音声がかえなくても、ほかの無線局が通話していることがあります。

この状態で、【PTT】(送信)スイッチを押しても、混信防止(キャリアセンス)機能(P.3-2)が動作して、送信できないようになっています。

※【送・受】ランプが消灯していることを確認してから、送信してください。

消灯を確認



【PTT】(送信)スイッチを押しながら、マイクに向かって、通話相手に呼びかけます。

- 【PTT】(送信)スイッチを押しているあいだは、【送・受】ランプが赤色に点灯します。

赤色に点灯

押しつづける



全体
通話

全体呼び出しで送信

基地局0099
呼出

基地局呼び出しで送信

個別0002
呼出

個別呼び出しで送信

グループ0003
通話

グループ呼び出しで送信

【相手局が通話圏内かどうかを確認するには】

基地局、または個別番号を選択したあと、【PTT】(送信)スイッチを短く押します。

- 通話圏内にいる場合、「ピッ」と鳴り、【送・受】ランプが緑色に1回点滅します。通話圏外など、相手に電波が届かない状態が5秒つづくと、基地局、または個別番号を選択したときの表示に戻ります。

緑色に1回点滅



短く押す

「ピッ」

4 呼び出しを受ける(受信する)

【PTT】(送信)スイッチをはなすと、待ち受け状態になります。

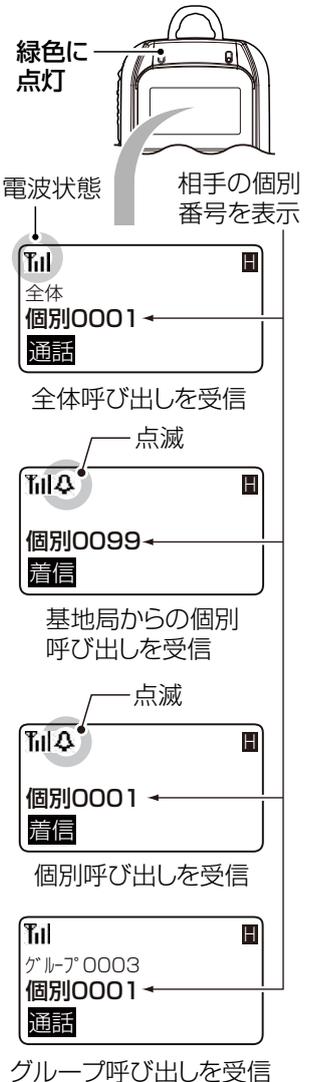
◎待ち受け状態のときは、【送・受】ランプが消灯しています。

◎電波を受信中は、【送・受】ランプが緑色に点灯します。

※音声が聞こえなくても、ほかの無線局が通話しているときは、【送・受】ランプが緑色に点灯します。

【応答するときには】

【送・受】ランプが消灯して、待ち受け状態になってから、【PTT】(送信)スイッチを押します。



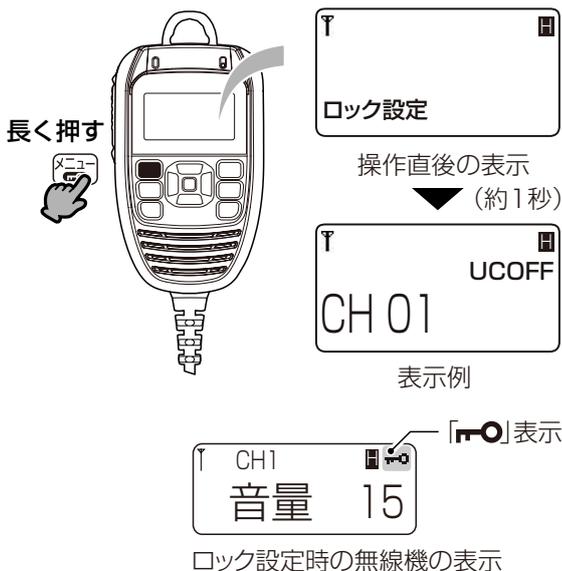
■ ロック機能

電源を入れなおしたり、不用意に、コマンドマイク(HM-206)のキー、無線機のキーやツマミに触れたりしても、設定や表示が変わらないようにします。

【操作のしかた】

「ピピッ」と鳴るまで、[メニュー/Ⓜ]キーを長く(約1秒)押しします。

※ 同じ操作をすると、解除できます。



〈ロック中にできる操作〉

- ◎ ロック機能の解除
- ◎ 送信/受信の切り替え
- ◎ 電源のON/OFF
- ◎ モニター機能のON/OFF
- ※ エマージェンシー機能(P.7-13)は、ロック中でも操作ができます。
- ※ 音量調整もロックする場合は、詳細設定モードの[キーロック時音量](P.8-8)で設定を変更できます。

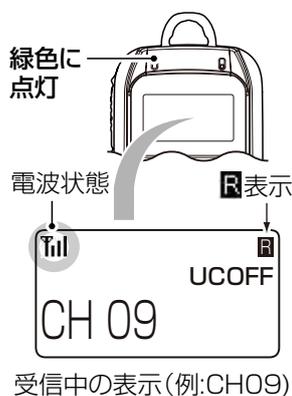
■ 受信専用機能

移動機への呼び出しや応答を禁止したいときなど、無線機の通話チャンネルを受信専用で使用できます。

※ 「📶」表示された通話チャンネルでは、呼び出しや応答ができません。

※ 受信専用機能をご使用になるには、設定が必要です。

設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



■ モニター機能

モニター機能は、次のような場合に使用します。

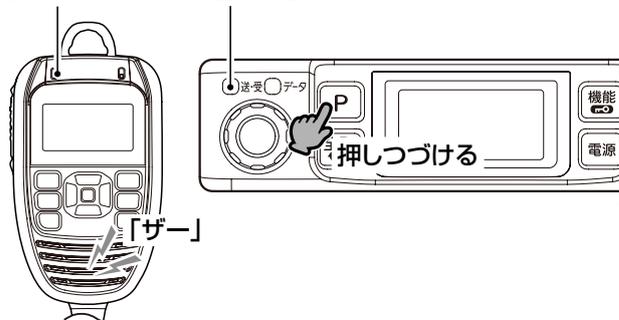
- ◎ 信号を受信していない状態で、「ザー」という音を聞きながら音量を調整するとき
- ◎ ユーザーコード、個別番号、グループ番号が異なる他局の通話を聞くととき
※ 他局が秘話機能を使用している場合は、秘話処理された電子音が聞こえるだけです。

【操作のしかた】

[P](プログラム)キーを押しているあいだ、モニター機能が動作します。

※ [P](プログラム)キーの動作が、モニター機能以外の操作に割り当てられているときは、動作しません。

[P](プログラム)キーを押しているあいだ緑色に点灯



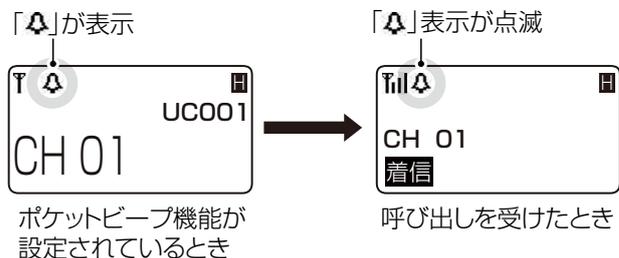
■ ポケットビープ機能

ユーザーコードや個別呼び出し機能が設定されている場合、使用できる機能です。

呼び出しを受けたとき、「📶」表示が点滅に変わります。同時に、ビープ音、またはメロディーで通知します。

※ ポケットビープ機能をご使用になるには、設定が必要です。

詳細設定モードから設定を変更できます。(P.8-3)



◎ ユーザーコードと個別呼び出し機能を併用している場合も、基地局呼び出し、または個別呼び出しを受けると「📶」表示が点滅に変わります。

◎ 呼び出しを受けたとき、ビープ音、またはメロディーを停止するときは、[電源]キーや無線機本体のツマミ以外の操作で停止できます。

◎ ポケットビープ機能が設定されていない状態で、基地局呼び出し、または個別呼び出しを受けたときは、ビープ音、またはメロディーは鳴らず、呼び出した相手の個別番号と、「📶」表示の点滅だけになります。

7 そのほかの機能について

■ 呼び出しメロディー機能

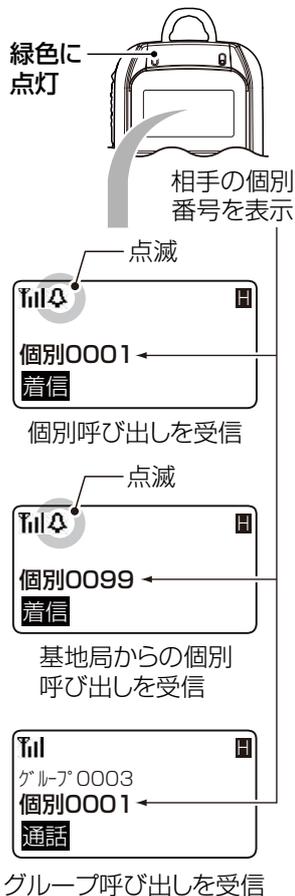
個別呼び出し、またはグループ呼び出しを受けたとき、Pベル機能、ポケットビープ機能、呼出着信音機能★の呼び出し音をメロディー(9種類)に設定できます。

※Pベル機能、ポケットビープ機能のメロディーを変更する場合は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

※呼出着信音機能★の呼び出し音をメロディーに変更する場合は、詳細設定モードから設定できます。(P.8-6)

※呼び出しを受けたとき、メロディーを停止するときは、[電源]キーや無線機本体のツマミ以外の操作で停止できます。

★呼出着信音機能とは、個別番号(最大10局)、グループ番号(最大10局)で、異なる呼び出し音が設定できる機能です。



■ 着信表示

ユーザーコードや個別呼び出しを受けたとき、[送・受]ランプが橙色に点滅します。

[戻る]キーを押すと、点滅が停止します。

※ご使用になるには、設定が必要です。

設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



■ 受信電波強度通知機能

周囲の状況(天候、山や建物などの障害物)により、受信信号の強度が弱くなり、相手の音声が届かない状態になると、「ピンポン」と通知音が鳴ります。

※通知音が鳴ったときは、場所を移動して通話してください。

受信信号の強度が強くなり、ふたたび信号を受信できるようになると、通知音は止まります。

※受信電波強度通知機能をご使用になるには、設定が必要です。

詳細設定モードから設定を変更できます。(P.8-1)

■ 送信出力の切り替え機能

無線機の送信出力を切り替えできる機能です。

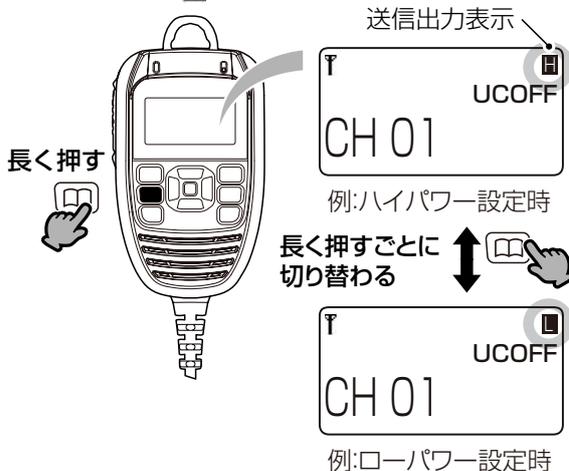
※送信出力の切り替え機能をご使用になるには、設定が必要です。

設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

【操作のしかた】

「ピピッ」と鳴るまで、[個別番号帳]キーを長く(約1秒)押しします。

※長く(約1秒)押すごとに、ハイパワー(5W:[H])とローパワー(1W:[L])が切り替わります。



7 そのほかの機能について

■ ショートメッセージ機能

個別呼び出し機能で呼び出しをするとき、あらかじめ設定されたショートメッセージを送信できます。

※ショートメッセージを送信するには、設定が必要です。

設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

※ショートメッセージの受信だけに使用する場合は、個別呼び出し機能(P.6-1)が設定されていれば、受信できます。

【ショートメッセージの送りかた】

下記の①～④の手順で操作します。

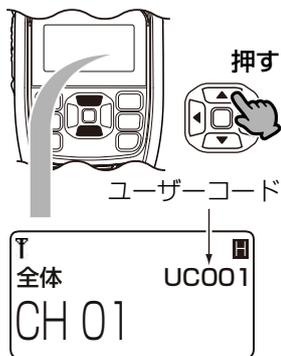
※受信したショートメッセージの確認方法は、⑤の手順(P.7-5)で説明しています。

1 通話チャンネルを合わせる

[▲]/[▼]キーを押して、通話相手と同じ通話チャンネルを選択します。

(表示例:全体呼び出し)

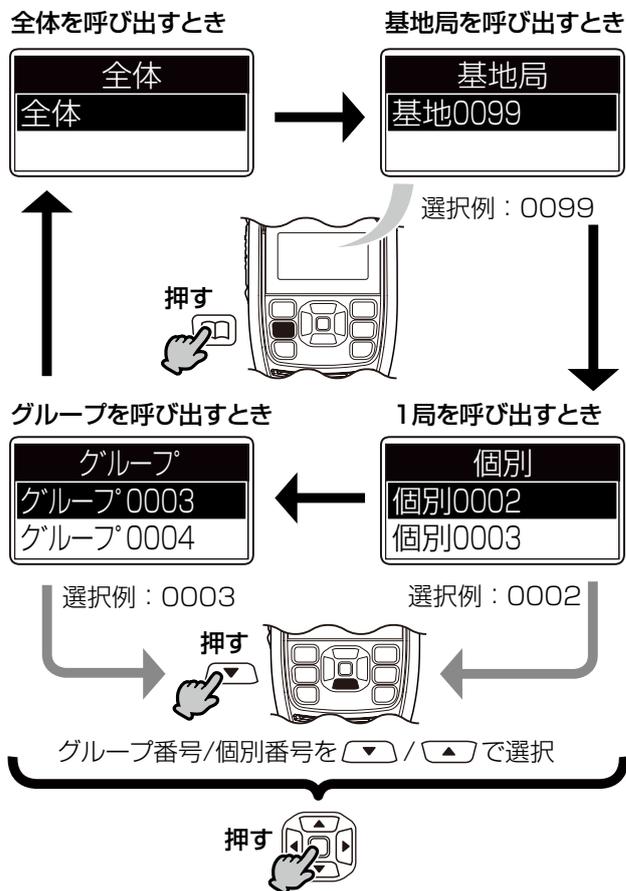
※選択した通話チャンネルで表示されるユーザーコードと異なる相手とは、通話できません。



ユーザーコードが設定された通話チャンネルの選択
(例:CH 01、UC001)

2 全体/基地/個別/グループ番号の選択

①下記の操作で、呼び出す相手を選択します。



②選択されていることを確認します。

◎全体を選択した場合

「全体」表示



◎基地局を選択した場合

「基地」表示

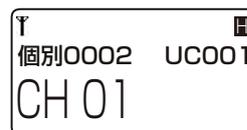
(例:基地0099)



◎1局(個別)を選択した場合

「個別」表示

(例:個別0002)



◎グループ番号を選択した場合

「グループ」表示

(例:グ 0003)



7 そのほかの機能について

■ ショートメッセージ機能

【ショートメッセージの送りかた】(つづき)

3 メッセージの選択

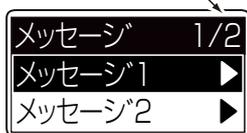
①【メニュー/□○】キーを短く押します。

- メニュー画面が表示されます。



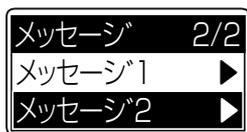
②【決定】キーを押します。

- 選択できるメッセージの番号(例:メッセージ1、メッセージ2)を表示します。

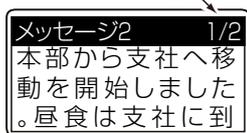


③【▲】/【▼】キーを押して、送信するメッセージを選択します。

例:メッセージ1が選択された状態



例:メッセージ2が選択された状態



例:送信する内容
1/2ページ目

【ご参考】

登録されたメッセージ(例:メッセージ2)を確認する場合は、【決定】キーを押します。

次に、【▲】/【▼】キーを押すと、全文章を確認できます。

4 ショートメッセージを送る

【ご注意】

【送・受】ランプが緑色に点灯しているときは、音声が聞こえなくても、ほかの無線局が通話していることがあります。

この状態で、【PTT】(送信)スイッチを押しても、混信防止(キャリアセンス)機能(P.3-2)が動作して、送信できないようになっています。

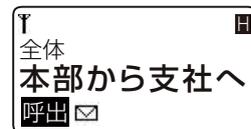
※【送・受】ランプが消灯していることを確認してから、送信してください。

消灯を確認



メッセージの内容が表示された状態で、【PTT】(送信)スイッチを押しながら、マイクに向かって、通話相手に呼びかけます。

- 【PTT】(送信)スイッチを押しているあいだは、【送・受】ランプが赤色に点灯します。同時に、メッセージが通話相手に送信されます。



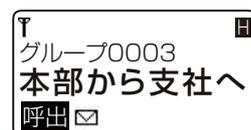
全体呼び出しで送信



基地局呼び出しで送信



個別呼び出しで送信



グループ呼び出しで送信

【メッセージを送りなおすには】

手順3の操作に戻って、メッセージを選択してから、呼び出しをしてください。

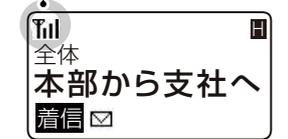
7 そのほかの機能について

■ ショートメッセージ機能

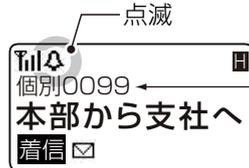
【ショートメッセージの送りかた】(つづき)

5 受信したショートメッセージの確認

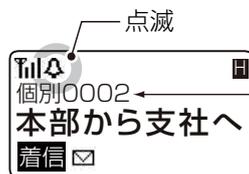
① ショートメッセージ付きの個別呼び出しを受信すると、メッセージの先頭部分を、右図のように、表示します。



全体呼び出しを受信



基地局からの個別呼び出しを受信

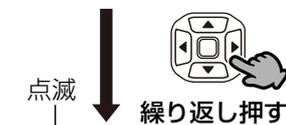


個別呼び出しを受信



グループ呼び出しを受信

② [◀]/[▶] キーを押すと、メッセージの内容を確認できます。

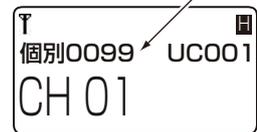


メッセージの確認
(例:個別呼び出しを受信)

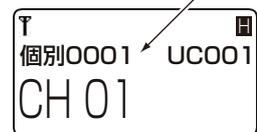
③ [戻る] キーを押します。
● 呼び出しを受けた相手の個別番号表示に戻ります。
※ [戻る] キーを押すまで、応答できません。



全体への応答



基地局への応答



個別への応答



グループへの応答

④ [PTT] (送信) スイッチを押しながら、マイクに向かって、通話相手に応答します。

● [PTT] (送信) スイッチを押しているあいだは、[送・受] ランプが赤色に点灯します。



7 そのほかの機能について

■ 拡声器機能

[P] (プログラム) キーに拡声器機能が割り当てられているとき、本製品を拡声器として使用できます。

※使用するには、詳細設定モードから、[P] (プログラム) キーの[Pキー短押し]、または[Pキー長押し]の動作を「拡声器」に設定してください。

※拡声器機能をお使いになるときは、必ず別売品の外部スピーカー(SP-30、SP-35)を無線機に接続してください。

※拡声器機能がONの状態、自局宛での呼び出しを受信したときは、拡声器機能が解除され、通常の通話ができます。

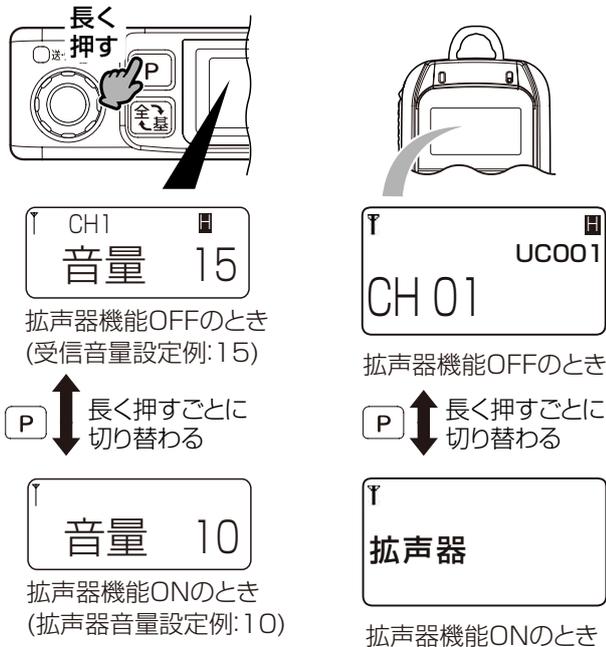
外部スピーカーの設定は、呼び出しを受信したとき、相手の音声が無線機に接続されたマイクロホンから聞けるように、設定モードの[スピーカー出力]項目(P.8-9)から、設定を「全てのSP」、または「SPマイクのみ」に変更してください。

【操作のしかた】

本書では、[P] (プログラム) キーを長く押ししたとき、動作するように割り当てられているものとして説明します。

- ① [P] (プログラム) キーを長く押しします。
 - 「拡声器」とコマンドマイク(HM-206)に表示されます。

切り替えるときは、無線機本体を操作します。



※拡声器機能OFFのときは、受信音量を調整できます。
拡声器機能ONのときは、拡声器音量を調整できます。

- ② [PTT] (送信) スイッチを押しながら、マイクロホン(HM-206)に向かって話します。

●外部スピーカーから、音声が出力されます。

※音声は、送信されません。



【マイク分岐BOX使用时】

マイク分岐BOX(別売品:OPC-2330)に接続しているマイクロホン(HM-204)からも拡声器の音声が聞こえます。

※マイク分岐BOXに接続したマイクロホンは、拡声器のマイクとして使用できません。

※マイク分岐BOX(別売品:OPC-2330)については、弊社ホームページに掲載されているIC-D6005取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

- ③ 無線で呼び出したい場合は、[P] (プログラム) キーを長く押しします。

●拡声器機能が解除されます。

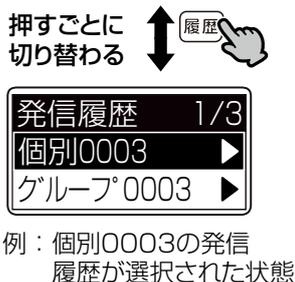
※拡声器の使用中は、呼び出しができません。

■ 発着信履歴機能

個別呼び出し、およびグループ呼び出しを送受信したとき、個別番号(相手の自局番号)やグループ番号、ショートメッセージや相手の位置情報が記憶されます。記憶された個別番号は、呼び出しに利用できます。
 ※発着信履歴機能をご使用になるには、設定が必要です。設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

【発着信履歴を使用して、呼び出しをするには】

- ①【履歴】キーを繰り返し押し、「着信履歴」、または「発信履歴」を選択します。
 ※設定されていない場合や履歴がない場合は、選択できません。



- ②発信履歴、または着信履歴が2件以上の場合は、【▲】/【▼】キーを押して選択します。
 ※上から順に最新の履歴として記憶されています。



- ③呼び出す相手の履歴を選択した状態で、【PTT】(送信)スイッチを押しながら、相手に呼びかけます。
 ●【送・受】ランプが赤色に点灯します。

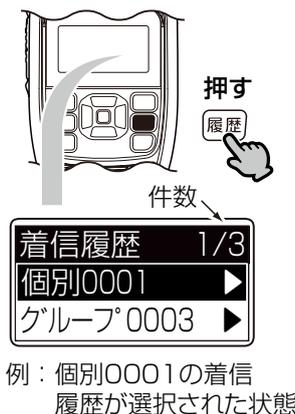


【発着信履歴件数と履歴の消去について】

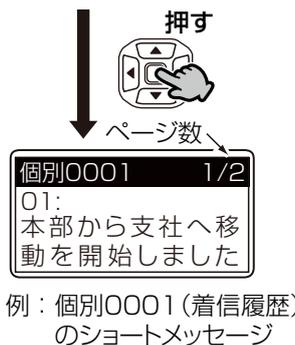
- ◎発信履歴、着信履歴を各10件まで記憶できます。10件を超えると、古い履歴から削除されます。
- ◎全体呼び出しの場合は、着信履歴を記憶しません。
- ◎発着信履歴の消去は、設定モードからできます。(P.8-5)

【発着信履歴からショートメッセージを確認するには】

- ①【履歴】キーを繰り返し押し、「着信履歴」、または「発信履歴」を選択します。
 ※設定されていない場合や履歴がない場合は、選択できません。
 ※発信履歴、または着信履歴が2件以上の場合は、【▲】/【▼】キーを押して選択します。



- ②【決定】キーを押します。
 ●ショートメッセージが表示されます。
 ※【PTT】(送信)スイッチを押すと呼び出せません。
 ※履歴に登録されたショートメッセージは、送れません。



【発着信履歴の内容や件数に異常があるときは】

設定モードの【発着履歴消去】項目(P.8-5)から履歴を消去してください。それでも改善しない場合は、全設定を初期化(P.9-1)してください。

■ 発着信履歴機能(つづき)

【発信履歴からGPS情報の送信時間を確認するには】

① **【履歴】** キーを繰り返し押し
て、「発信履歴」を選択しま
す。

※設定されていない場合
や履歴がない場合は、選
択できません。

※発信履歴が2件以上ある
場合は、**【▲】**/**【▼】**キーを
押して選択します。



② **【決定】** キーを押します。

●GPS情報を送信した時
刻が表示されます。

※GPS衛星からの信号を
測位できない状態で送
信したときは、時刻は履
歴として表示できませ
ん。

※ショートメッセージと
併せて送信したときの
履歴では、その内容も確
認できます。



位置情報を送信した
時刻の発信履歴表示例

ショートメッセージあり



位置情報とショートメッ
セージを送信した時刻
の発信履歴表示例

【着信履歴からGPS情報を確認するには】

① **【履歴】** キーを繰り返し押し
て、「着信履歴」を選択しま
す。

※設定されていない場合
や履歴がない場合は、選
択できません。

※着信履歴が2件以上ある
場合は、**【▲】**/**【▼】**キーを
押して選択します。



② **【決定】** キーを押します。

●GPS情報を受信した時
刻が表示されます。

※ショートメッセージと
併せて受信したときの
履歴では、その内容も表
示されます。

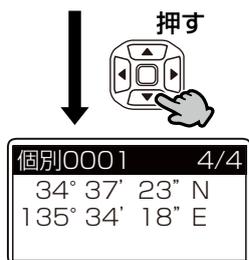


位置情報とショートメッ
セージを受信した時刻
の受信履歴表示例

③GPS情報が表示されるま
で、**【▼】**キーを繰り返し押
します。



相手との距離と方位の
表示例



相手の緯度と経度の
表示例

7 そのほかの機能について

■ プライベートチャンネル機能

特定の通話チャンネルをプライベートチャンネル(例:呼出CH)に設定することで、よく利用する通話チャンネル(例:CH 05)との切り替えが簡単になります。

※使用するには、詳細設定モードから、[P-CH機能]の設定(初期設定:OFF)を「ON」、[P] (プログラム)キーの[Pキー短押し]、または[Pキー長押し]の動作を「P-CH」に設定してください。(P.8-7)

※プライベートチャンネル番号と同じ通話チャンネル番号を選択しているときは、[P] (プログラム)キーの操作は無効です。

【操作のしかた】

◎[P-CH]を[Pキー短押し]に設定した場合

[P] (プログラム)キーを短く押すごとに、通話チャンネル(例:CH 05)とプライベートチャンネル(例:呼出CH)が切り替わります。

◎[P-CH]を[Pキー長押し]に設定した場合

[P] (プログラム)キーを長く(約1秒)押すごとに、通話チャンネル(例:CH 05)とプライベートチャンネル(例:呼出CH)が切り替わります。

無線機本体の[P]キーを押します。



通話チャンネル番号
(設定例:CH5)

↓ [P]キー



プライベートチャンネル表示

↓ 約1秒後



プライベートチャンネル番号★
(設定例:呼出CH)



通話チャンネル番号
(設定例:CH5)

↓ [P]キー



プライベートチャンネル番号★
(設定例:呼出CH)

★工場出荷時やユーザーリセット時、「呼出CH」(呼出用チャンネル:CH15)がプライベートチャンネルに設定されています。

詳細設定モードから設定を変更できます。(P.8-1)

■ プライベートチャンネルスキャン機能

よく利用する通話チャンネル(例:CH 05)を受信しながら、プライベートチャンネル番号(例:呼出CH)を一定の時間ごとに受信(監視)できます。

※使用するには、詳細設定モードから、[P-CH機能]の設定(初期設定:OFF)を「ON」、[P] (プログラム)キーの[Pキー短押し]、または[Pキー長押し]の動作を「P-CHスキャン」に設定してください。(P.8-7)

【操作のしかた】

◎[P-CHスキャン]を[Pキー短押し]に設定した場合

[P] (プログラム)キーを短く押します。

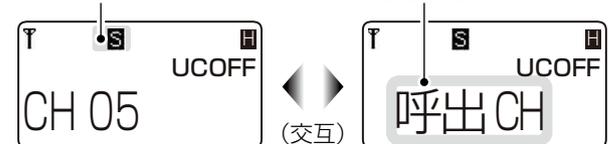
◎[P-CHスキャン]を[Pキー長押し]に設定した場合

[P] (プログラム)キーを長く(約1秒)押します。

「呼出CH」(呼出用チャンネル:CH15)をプライベートチャンネルに設定したときは、下記のように切り替わります。

スキャン中点滅

例:呼出用チャンネル



通話チャンネル番号

プライベートチャンネル番号

【プライベートチャンネルスキャンを解除するには】

コマンドマイク(HM-206)の[決定]キーを押します。



※スキャン開始と同じ操作でもスキャンを解除できません。

※電源を入れなおしても、解除されません。

【プライベートチャンネルスキャンの動作について】

◎プライベートチャンネルスキャン中は「S」が表示され点滅します。

◎プライベートチャンネル番号と同じ通話チャンネル番号を選択しているときは、スキャンしません。

◎スキャン中は、通話チャンネルで待ち受け中、2秒ごとにプライベートチャンネルをスキャンします。スキャン中に緊急呼び出しをすると、スキャン動作を解除して、通話チャンネルで緊急信号を送信します。

◎電波を受信中は、詳細設定モードのスキャン停止時間とスキャン再開時間の設定にしたがってスキャンします。(P.8-8)

このとき、緊急呼び出しをすると、スキャン動作が解除されます。

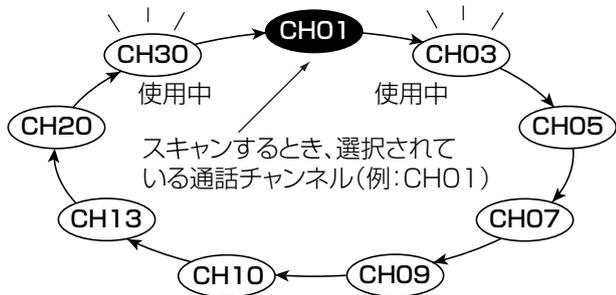
◎プライベートチャンネル(P.8-7)に上空用チャンネル(CH S1~CH S15)が設定されている場合は、上空用チャンネルをプライベートチャンネルスキャンの対象にできません。

※上空用チャンネルの設定は販売店にご依頼ください。

◎スキャン中に呼び出す場合は、通話チャンネルで送信します。

■ メモリーチャンネルスキャン機能

通話チャンネルを自動で切り替えて、使用中の通話チャンネルを探し出す機能です。



○ は、スキャンの対象に設定された通話チャンネル

※スキャン対象外の通話チャンネル(例:CH01)が選択されている状態でスキャンを開始させたときは、その通話チャンネルも含めてスキャンします。

※使用するには、詳細設定モードから、[P] (プログラム) キーの[Pキー短押し]、または[Pキー長押し]の動作を「M-CHスキャン」に設定してから、[スキャン/サーチ CH]でスキャンの対象にするチャンネルを設定してください。(P.8-7、P.8-8)

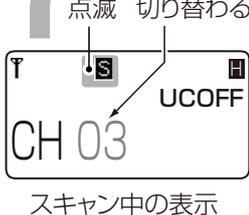
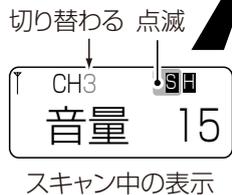
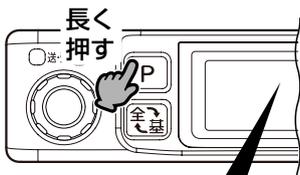
※本書では、[P] (プログラム) キーを長く押したとき、動作するように割り当てされているものとして説明します。

【操作のしかた】

[P] (プログラム) キーを長く押します。

●スキャンを開始します。

スキャンするときは、無線機本体を操作します。



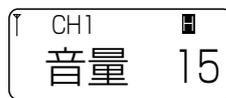
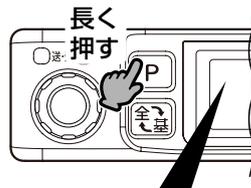
【メモリーチャンネルスキャンを解除するには】

[P] (プログラム) キーを長く、またはコマンドマイク(HM-206)の[決定]キーを押します。

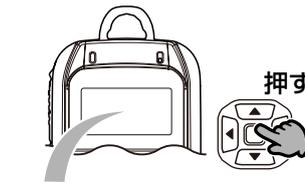
●スキャンをする直前に選択されていた通話チャンネルを表示します。

※電源を入れなおしても、スキャンは解除されません。

解除するときは、下記のどちらかで操作します。



スキャンを解除したときの表示



スキャンを解除したときの表示

【メモリーチャンネルスキャンの動作について】

◎スキャンの対象に設定された通話チャンネルが1件だけで、その通話チャンネルと同じ番号を選択しているときは、スキャンしません。

◎スキャン中に緊急呼び出しなど、送信をすると、スキャン動作を解除して、スキャンをする直前に選択されていた通話チャンネルで呼び出しをします。

◎スキャン中は、個別呼び出しや緊急呼び出しを正しく受信できないことがあります。

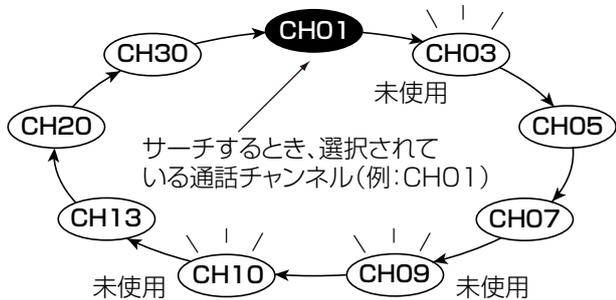
◎受信状態が10秒つづいたら、スキャンを再開します。10秒経過するまでに信号がなくなり、その状態が5秒つづいたら、スキャンを再開します。

スキャン停止時間と再開時間の設定変更については、お買い上げの販売店にご依頼ください。

7 そのほかの機能について

■ 空きチャンネルサーチ機能

通話チャンネルを自動で切り替えて、使用していない通話チャンネルを探し出す機能です。



○ は、サーチの対象に設定された通話チャンネル

※ [P] (プログラム) キーに空きチャンネルサーチ機能が割り当てられているとき、使用できます。

なお、空きチャンネルサーチ機能が割り当てられている場合でも、コマンドマイク(HM-206)が接続されていないときは、動作しません。

※ 使用するには、詳細設定モードから、[P] (プログラム) キーの[Pキー短押し]、または[Pキー長押し]の動作を「E-CHサーチ」に設定してから、[スキャン/サーチCH]でサーチの対象にするチャンネルを設定してください。(P.8-7、P.8-8)

※ 本書では、[P] (プログラム) キーを長く押したとき、動作するように割り当てされているものとして説明します。

【空きチャンネルサーチの動作について】

◎ サーチの対象に設定された通話チャンネルが1件だけで、その通話チャンネルと同じ番号を選択しているときは、サーチしません。

◎ サーチ中、または右図のようなサーチ結果が表示されている状態では、[決定] キーを押して、その表示を解除するまで、送信や緊急呼び出しができません。



空きチャンネルサーチ完了時の表示例

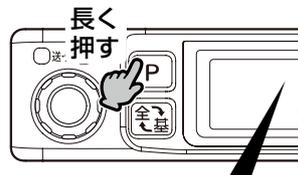
また、自局宛での呼び出しを受けたときも、[送・受]ランプが点灯しますが、サーチする前の表示に戻すまで、音声は聞こえません。

【操作のしかた】

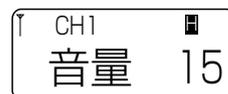
[P] (プログラム) キーを長く押しします。

● サーチ中を表示します。

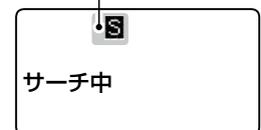
サーチを開始するときは、無線機本体を操作します。



サーチ中の表示



サーチ終了後の表示



サーチ中の表示



空きチャンネルサーチ完了時の表示例



例：CH10を選択



例：CH10を表示

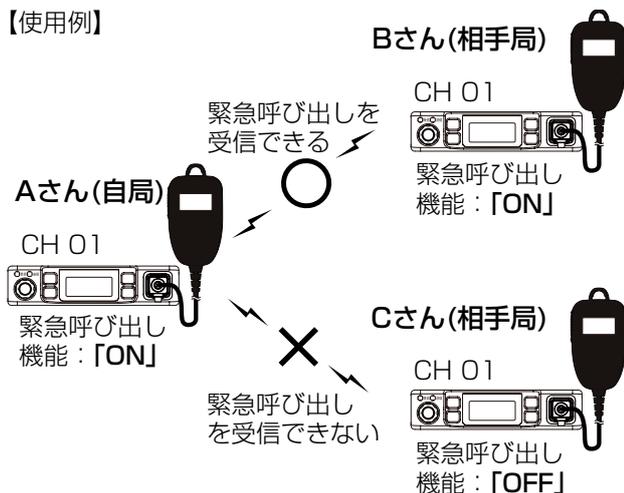
■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー)

迅速な連絡が必要な場合、自分と同じ通話チャンネルで緊急呼び出し機能が設定された相手に、緊急表示と警告音で通知できます。

※緊急呼び出し機能をご使用になるには、設定が必要です。

設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

【使用例】



△警告

緊急呼び出し機能(エマージェンシー)は、大きな音量の警告音が連続で鳴ります。

【◀/▶】キーを押して、適切な音量レベルになっていることを確認してください。

【緊急呼び出し機能を正しく使用するには】

◎呼び出し用IDが一致する相手局を一斉に呼び出すことができます。

工場出荷時、すべての無線機に同じ呼び出し用IDが設定されていますので、変更が必要な場合は、お買い上げの販売店に、ご依頼ください。

◎緊急呼び出し機能は、送信側と受信側の無線機に設定されているとき、使用できる機能です。

送信側と受信側の両方に設定されていないときは、緊急呼び出しの送信や受信、応答ができません。

◎個別呼び出し機能(P.6-1)が設定されていない無線機から、個別呼び出し機能が設定されている無線機へ緊急呼び出しはできません。

緊急呼び出し機能を使用するときは、送信側と受信側の両方に個別呼び出し機能を設定してください。

下記のような場合、正しく設定されていても緊急呼び出しが通知されなかったり、通知されても警告音が鳴らなかったりすることがあります。

- ◎音量が最小に設定されている場合
- ◎警告音を鳴らさない設定がされている場合
- ◎電波状況の悪化により電波が届かない場合

【マイク分岐BOXを使用しているときは】

マイク分岐BOX(別売品:OPC-2330)に接続しているマイクロホン(HM-204)からも緊急呼び出しができます。

※マイク分岐BOX(別売品:OPC-2330)については、弊社ホームページに掲載されているIC-D6005取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

7 そのほかの機能について

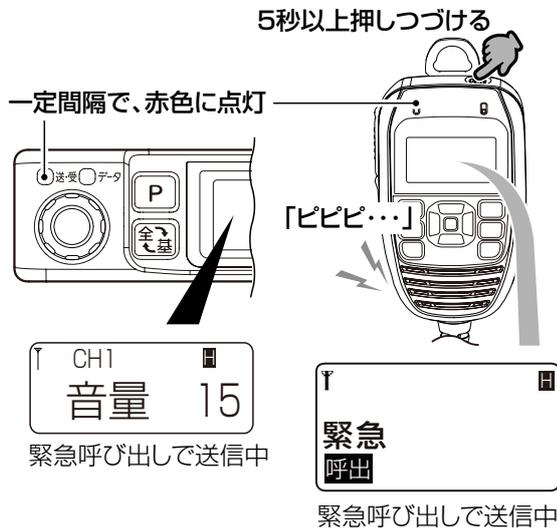
■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー)つづき

【緊急呼び出しのしかた】

コマンドマイク(HM-206)の[緊急呼び出し]キーを長く(5秒以上)押し、個別呼び出し機能が設定された自分と同じ通話チャンネルの相手へ一斉に緊急呼び出しをします。

※緊急呼び出しに使用する通話チャンネルが、あらかじめ指定されていない場合は、緊急呼び出しの前に、緊急呼び出しをする相手と同じ通話チャンネル番号を選択してください。

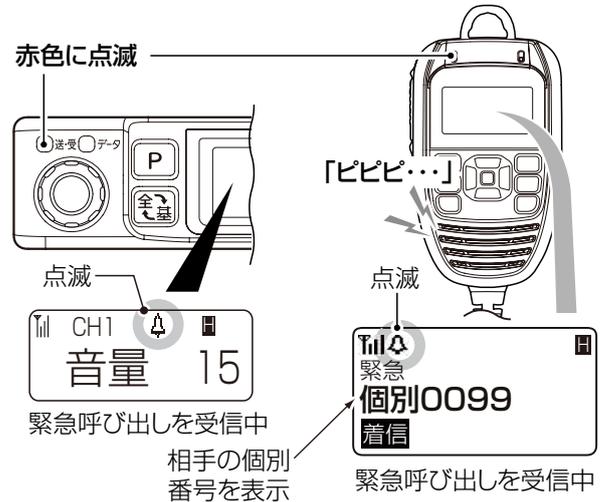
- ①「緊急」と表示されるまで、コマンドマイク(HM-206)の[緊急呼び出し]キーを長く(5秒以上)押します。
 - 「緊急」表示の点滅と同時に、警告音が「ピピピ…」と鳴って、一定の間隔ごとに[送・受]ランプが赤色に点灯します。



- ②その状態で、相手局から応答があるのを待ちます。
 - 応答があると、「呼出」表示が「通話」表示に変わり、[送・受]ランプが緑色に点灯します。
個別呼び出し機能使用時は、応答した相手の個別番号も併せて表示されます。
 - ※応答がない場合は、電源を切ると緊急呼び出しが停止します。
- ③通話をつづけます。
 - 何も操作しない状態が5秒つづくと、終話して、緊急呼び出しをする前の状態に戻ります。

【緊急呼び出しを受けたときは】

- ①警告音が「ピピピ…」と鳴って、[送・受]ランプが赤色に点滅します。
また、「緊急」と「相手局番号」を表示します。



- ②[PTT] (送信)スイッチを押して、応答します。
 - 応答すると、「着信」表示が「通話」表示に変わり、警告音が停止します。
 - ※応答しない場合は、電源を切ると緊急呼び出しが停止します。
- ③通話をつづけます。
 - 何も操作しない状態が5秒つづくと、終話して、緊急呼び出しを受信する前の状態に戻ります。

7 そのほかの機能について

■ 録音/再生機能

送信したときの通話、および自局宛ての通話を自動録音、および再生できます。

※録音された最新の内容(最大5分間の録音)は、録音履歴を消去するまで、保持されます。

5分を超えた内容は、その時点で1番古い録音内容を消去しながら録音されます。

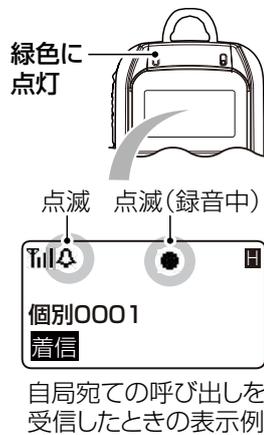
※録音/再生機能の使用、および設定モードから録音履歴を消去できるようにするには、設定が必要です。詳細設定モードから設定を変更できます。(P.8-10)

1 呼び出しを受ける(録音開始)

自局宛ての通話を受信すると、自動で録音を開始します。

●【送・受】ランプが緑色に点灯すると同時に、「●」が点滅します。

※自局から呼び出しをした場合でも、呼び出しを受けたときと同様に、「●」が点滅して、自動で録音を開始します。



2 応答する(録音継続)

①【送・受】ランプが消灯し、待ち受け状態を確認します。

●【●】は、点滅をつづけます。

②【PTT】(送信)スイッチを押しながら、マイクに向かって、通話相手に応答します。

●【送・受】ランプが赤色に点灯します。「●」は、点滅をつづけます。



3 終話する(録音終了)

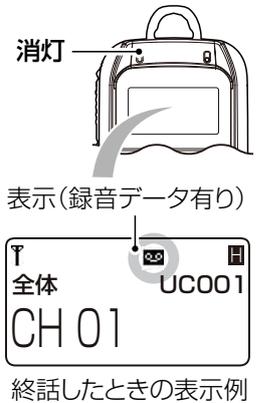
通話が終わったら、【PTT】(送信)スイッチをはなします。

●【送・受】ランプが消灯します。

その後、何も操作しない状態が5秒つづく、「●」が消灯し、「●」が表示されます。

表示は、終話後表示設定★で指定されている表示(例:全体)に戻ります。

★終話後表示設定の変更は、詳細設定モードから設定を変更できます。



(P.8-5)

【録音/再生機能の動作について】

◎送信したときの通話、および自局宛ての通話を受信すると自動で録音を開始します。

※個別呼び出し機能を使用時、他局間の通話や呼び出しの音声は出力されますが、録音されません。

◎ユーザーコードや個別番号が一致しない場合など、音声が出力されない通信は、録音されません。

そのとき、再生中の場合は、再生をつづけます。

◎終話するまでの通話を1件として録音します。

録音を一時停止をすると、送信中や受信中に再開しても、別の1件として録音されます。

◎録音時間の合計が5分を超えた場合には、その時点で1番古い録音内容を消去しながら録音されます。

録音件数は、録音時間の合計が5分以内であれば、最大30件です。

◎再生中に自局宛の呼び出しを受信した場合は、再生が停止されると同時に受信音声が出力され、録音を開始します。

◎緊急呼び出しを送信、または受信したとき、警告音が「ピピピ…」と鳴っているあいだは、「●」が点滅していますが、録音はされません。

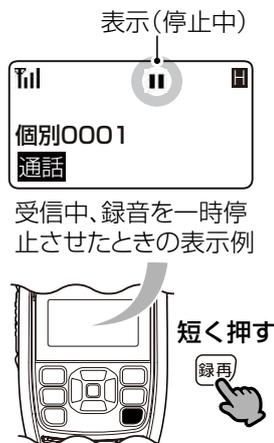
応答されたら、録音を開始します。

7 そのほかの機能について

■ 録音/再生機能(つづき)

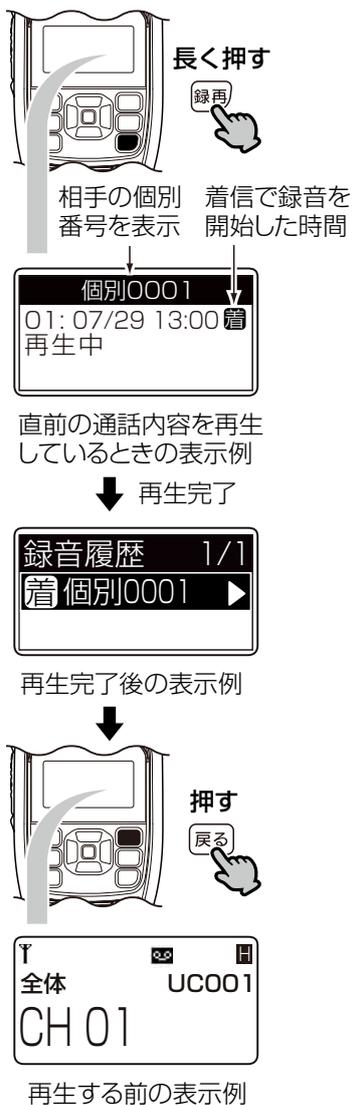
【録音を一時停止するには】

待ち受け時、送信、または受信中に、**【録再】**キーを短く押すごとに、録音一時停止と再開が切り替わります。



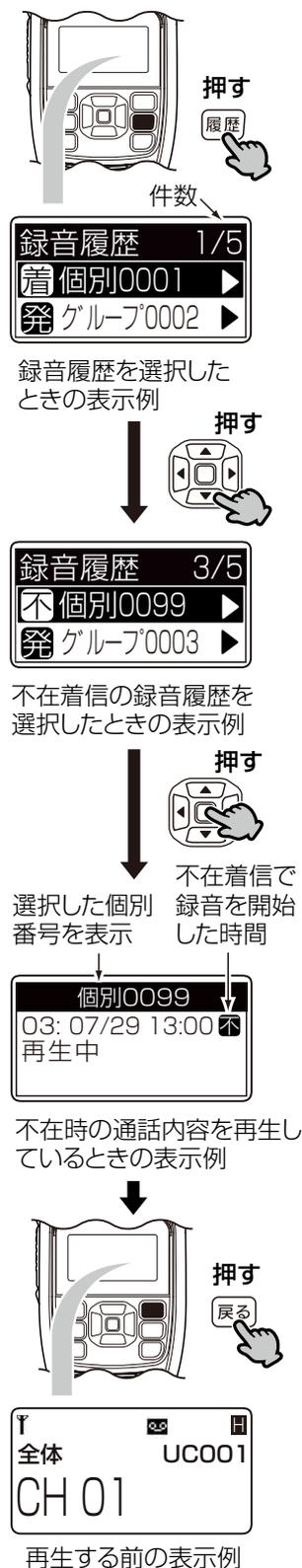
【直前に録音された内容を再生するには】

- ① 通話チャンネル番号表で、**【録再】**キーを長く押します。
 - 再生が開始されます。
- ② 再生する前の表示に戻すときは、**【戻る】**キーを押します。



【録音履歴から再生するには】

- ① **【履歴】**キーを繰り返し押し、「録音履歴」を選択します。
 - ※設定によっては、「着信履歴」→「発信履歴」→「録音履歴」の順に切り替わります。
 - ※設定されていない場合や履歴がない場合は、選択できません。
- ② 録音履歴が2件以上の場合は、**【▲】**/**【▼】**キーを押して選択します。
 - ※上から順に最新の履歴として記憶されています。
- ③ **【決定】**キーを押します。
 - 再生が開始されます。



【「音」、「発」、「不」の説明】

- 「音」: 自局宛での着信に回答して、終話するまでの通話
- 「発」: 自局から呼び出しをして、終話するまでの通話
- 「不」: 自局宛での着信に回答できず、終話したときの通話

7 そのほかの機能について

■ GPS機能

自局の位置情報(緯度/経度)を表示したり、相手局に自局の位置情報を送信したりできる機能です。

相手局の位置情報を受信したときは、相手局との距離と方位を表示できます。

※GPS機能をご使用になるには、送信側と受信側の無線機に設定が必要です。

設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

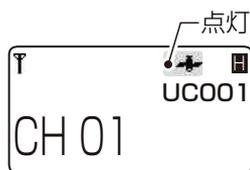
※「」が点滅から点灯に変わると、受信(測位)完了です。点滅している状態では、位置情報の表示や送信、発着信履歴使用時の時刻表示ができません。

※本製品が設置されている場所や建物の周辺環境によって、GPS衛星からの信号を測位できない場合があります。

※位置管理システムなどのマッピングには対応していません。

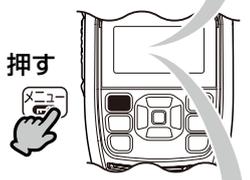
【自局の位置情報を確認するには】

①「」が点灯(測位が完了)していることを確認します。



測位完了時の表示

②【メニュー/】キーを短く押します。
●メニュー画面が表示されます。



③【】/【】キーを押して、「GPS情報」を選択します。



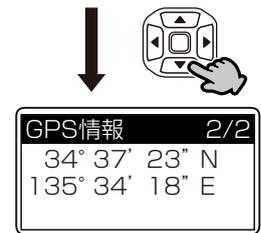
GPS情報を選択

④【決定】キーを押します。

- 測位日時と追尾衛星数(表示例 SAT:05)を表示します。

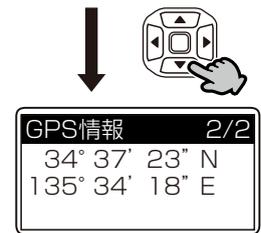


測位日時と追尾衛星数(SAT)の表示例



緯度と経度の表示例

⑤【】キーを押すと、緯度と経度を表示します。



緯度と経度の表示例

⑥待ち受け時の表示に戻るときは、【戻る】キーを2回押します。



【相手局から位置情報(緯度/経度)を受信したときの表示】

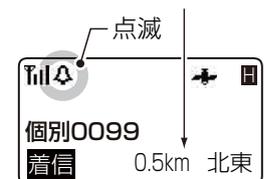
GPS機能が設定されているとき、相手局の位置情報を受信すると、相手局との距離と方位を表示します。

※発着信履歴機能が設定されているときは、発着信履歴から、相手局の位置情報を確認できます。(P.7-8)

※個別呼び出し機能がOFFの場合は、着信表示(P.7-2)が設定されていて、ユーザーコードが同じ相手からの呼び出しを受信したときだけ、位置情報を表示できます。

※通話相手との距離が近距離(200m以内)のときは、自局との距離と方位が相手局に表示されないことがあります。

例:相手局が自局より北東へ0.5km先にいることを表示



相手局から位置情報付きで、個別呼び出しを受けたときの表示例

7 そのほかの機能について

■ GPS機能(つづき)

【自局の位置情報(緯度/経度)を送信するには】

✚が点灯している状態で、
【PTT】(送信)スイッチを押しながら、マイクに向かって、通話相手に呼びかけます。

- 【PTT】(送信)スイッチを押しているあいだは、【送・受】ランプが赤色に点灯します。
※同時に、自局の位置情報が通話相手に送信されます。



自局の位置情報付きで、個別呼び出しをしたときの表示例

【ご参考】

位置情報(緯度/経度)が通話相手に送出されるのは、最初に呼び出し、または応答をしたときだけです。

通話中は、終話するまで、最新の位置情報が送出されるので、通信開始時と位置情報が異なることがあります。

【送信時のご注意】

【PTT】(送信)スイッチを押すと、位置情報を送出後に音声を送信されます。

「ピピッ」と鳴ってから、通話相手に呼びかけてください。

■ ノイズキャンセル機能

周囲の雑音を抑えて、雑音の少ない音声にして通話する機能です。

※ 使用するには、詳細設定モードからの設定が必要です。
(P.8-10)

※ 右図のマイクから入った周囲のノイズを使用して、前面部のマイクから入った周囲のノイズを打ち消すことで、送信音声に含まれるノイズ(特に低音域)を軽減します。

ノイズキャンセル機能用マイク



HM-206(後面)

【ご注意】

送信するときは、ノイズキャンセル機能用のマイクが指でふさがらないように、コマンドマイク(HM-206)を持ってください。

「設定モード」、または「詳細設定モード」から、本製品の各機能を変更する方法について説明します。

■ 設定一覧

コマンドマイク(HM-206)に表示される設定項目について説明しています。

設定モード、詳細設定モードによって、設定できる項目が異なります。

以下の一覧表を参考に、必要な項目を設定してください。

□欄は、設定モードでも変更できる設定項目です。

機能名称	初期値	参照
Pベル ^{*2}	OFF	P.8-3
ポケットビープ	OFF	P.8-3
秘話	OFF	P.8-3
秘話キー ^{*8}	00001	P.8-3
送信出力切替	HIGH	P.8-4
マイクゲイン	0dB	P.8-4
ユーザーコード	チャンネル共通	P.8-4
チャンネル毎ユーザーコード ^{*1}	OFF	P.8-4
個別呼出	OFF	P.8-4
自局番号 ^{*2}	0001	P.8-4
基地局番号 ^{*2}	0099	P.8-4
グループ設定 ^{*2}	グループ0001	P.8-5
終話後表示 ^{*2}	全体	P.8-5
優先個別番号 ^{*2*4}	0099	P.8-5
発着信履歴消去 ^{*2}	しない	P.8-5
呼出着信音 ^{*2*7}	0001	P.8-6
P-CH機能	OFF	P.8-7
P-CH ^{*3}	呼出	P.8-7
Pキー短押し	ホーム	P.8-7
Pキー長押し	モニタ	P.8-7
スキャン/サーチCH ^{*5}	CH 01	P.8-8
スキャン停止時間 ^{*6}	10秒	P.8-8
スキャン再開時間 ^{*6}	5秒	P.8-8
通話後動作 ^{*6}	スキャン解除	P.8-8
キーロック時音量	無効	P.8-8
スピーカー出力	自動	P.8-9
チャンネル番号音声案内	ON	P.8-9
受信電波強度通知機能	OFF	P.8-9
妨害波アラーム	OFF	P.8-9
マイクコントラスト	12	P.8-9
本体コントラスト	12	P.8-9
バックライト	常時点灯	P.8-9
マイク表示輝度	4	P.8-10
本体表示輝度	4	P.8-10
録音再生機能	OFF	P.8-10
録音履歴消去 ^{*9}	しない	P.8-10
ノイズキャンセル	OFF	P.8-10
ユーザーリセット	しない	P.8-10

*1 ユーザーコードの設定が「チャンネル毎」の場合だけ表示されます。

*2 個別呼び出しの設定が「ON」の場合だけ表示されます。

*3 プライベートチャンネル機能の設定が「ON」の場合だけ表示されます。

*4 終話後表示の設定が「優先個別」の場合だけ表示されます。

*5 [P](プログラム)キー短押し、または[P](プログラム)キー長押しの設定

が「M-CHスキャン」、または「E-CHサーチ」のとき、設定できます。

*6 [P](プログラム)キー短押し、または[P](プログラム)キー長押しの設定

が「P-CHスキャン」、または「M-CHスキャン」のとき、設定できます。

*7 ポケットビープの設定が「OFF」のとき、設定できます。

*8 秘話が「キー ID1」～「キー ID20」のとき、表示されます。

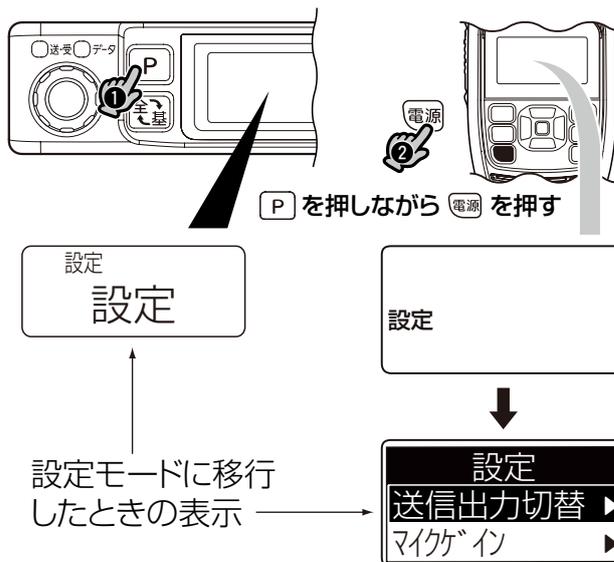
*9 録音再生機能の設定が「ON」の場合だけ表示されます。

■ 設定モードに移行するには

【操作のしかた】

① 本製品の電源を切ります。

② [P](プログラム)キーを押しながら、[電源]キーを押しつづけます。



③ 「設定」と表示され、「ピピッ」と鳴ったら、すべてのキーから手をはなします。

● 設定項目が表示されます。

※ 設定モードを解除するまで通話できません。

④ 「■ 設定のしかた」(P.8-2)の操作をすると、設定値を変更できます。

8 各種機能の設定

■ 詳細設定モードに移行するには

【操作のしかた】

- ① 本製品の電源を切ります。
- ② [全⇄基]キーと[機能/Ⓜ-O]キーを同時に押しながら、[電源]キーを押しつづけます。



- ①を同時に押しながら、
- ②を長く押す

- ③ 「詳細設定」と表示され、「ピピッ」と鳴ったら、すべてのキーから手をはなします。
 - 設定項目が表示されます。

※設定モードを解除するまで通話できません。
- ④ 「■ 設定のしかた」の操作をすると、設定値を変更できます。



■ 設定のしかた

設定モード、または詳細設定モードに移行後、下記の手順で各機能の設定を変更できます。

【操作のしかた】

- ① [▲]/[▼]キーを繰り返し押しして、設定項目(例:スピーカー出力)を選択します。



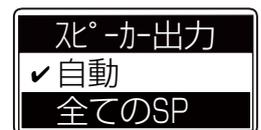
設定モードの表示例



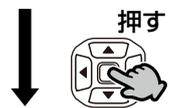
例:スピーカー出力を選択したとき



現在の設定値



変更する設定値を選択
(選択例:全てのSP)



設定値確定後の表示



設定モード解除

- ② [決定]キーを押します。
 - 現在の設定値(例:自動)が表示されます。

- ③ [▲]/[▼]キーを繰り返し押しして、設定値を選択します。(例:全てのSP)

- ④ [決定]キーを押します。
 - 設定値が確定されます。

※ほかの機能も変更するときは、①～④の操作を繰り返します。

- ⑤ 設定モードを解除するときは、[PTT] (送信) スイッチを押します。
 - ※設定値を変更後に、電源を切った場合でも、設定値が確定されます。

8 各種機能の設定

■ 設定項目について

Pベル (初期設定:OFF)



Pベル機能を設定します。

Pベル機能を使用すると、呼び出し(全体/個別/グループ)を受けたとき、応答するまで相手の音声をミュート(聞こえないように)します。

※ [個別呼出]を「ON」に設定したときに表示されます。

- OFF : Pベル機能を使用しない
- ブザーON : 個別、グループ、または全体呼び出しを受信したとき、音声をミュートしてブザーが鳴る
- メロディON: 個別、グループ、または全体呼び出しを受信したとき、音声をミュートしてメロディーが鳴る
- ブザーOFF : 個別、グループ、または全体呼び出しを受信したとき、音声をミュートするがブザーは鳴らない

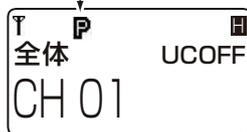
【ブザーON、メロディON、ブザーOFFに設定した場合】

◎右図のように、表示部には、「P」が表示されます。

◎ポケットビープ機能と併用する場合、基地局/個別呼び出しを受けたとき、Pベル機能のブザー(ピー音、3回)、またはメロディー音(1回)が鳴ったあとに、ポケットビープ機能で設定された呼び出し音、またはメロディー音(3回)が鳴ります。

また、「ブザーOFF」に設定すると、基地局/個別呼び出しを受けても、ポケットビープ機能で設定された呼び出し音やメロディー音は鳴りません。

Pベル表示



Pベル機能設定時の表示(例:CH 01)

ポケットビープ (初期設定:OFF)



ユーザーコードによる呼び出し、または個別呼び出し機能による個別呼び出しを受けたとき、呼び出し音のパターンを設定します。

※グループ、または全体呼び出しを受けたときは、ポケットビープが「OFF」以外に設定されていても鳴りません。

- OFF : ポケットビープを使用しない
- 30回 : 「トルルル」と音が30回連続で鳴る
- 3回 : 「トルルル」と音が3回連続で鳴る
- 1分毎 : 「トルルル」と音が3回連続で鳴ったあと、1分ごとに1回鳴る
- 連続 : 「トルルル」と音が3回連続で鳴ったあと、2秒ごとに1回鳴る
- ピー : 「ピー」と音が1回鳴る
- ピピピ : 「ピピピ」と音が1回鳴る
- メロディ : あらかじめ設定されたメロディー音が鳴る

秘話 (初期設定:OFF)



通話を他者に聞かれないようにする秘話機能を設定します。

【秘話IDの設定】

- OFF : 秘話機能を使用しない
- キーID1～キーID20 : 秘話機能を使用し、秘話キーが設定された[キーID1～キーID20]のメモリーを選択する

【秘話キーの設定】

選択した秘話ID(キーID1～キーID20)が表示された状態で、【個別番号帳】キーを押すと、「秘話キー」が表示されます。

※【戻る】キーを押すと、秘話IDの設定画面に戻ります。

- 選択範囲:00001～32767

【「呼出CH」選択時のご注意】

「呼出CH」(呼出用チャンネル:CH15)を選択したときは、ここで設定した秘話機能が無効になります。

【ご注意】

送信側と受信側に異なる秘話IDを設定していても、それぞれの[キーID1～キーID20]にメモリーされている秘話キーが同じ場合は音声聞こえます。

8 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

送信出力切替 (初期設定:HIGH)

送信出力切替
LOW
<input checked="" type="checkbox"/> HIGH

送信出力を設定します。

- LOW : 送信出力を1Wに設定する
- HIGH : 送信出力を5Wに設定する
- チャンネル毎 : チャンネルごとに送信出力を設定する
※チャンネルごとに送信出力を設定するには、お買い上げの販売店にご依頼ください。

マイクゲイン (初期設定:0dB)

マイクゲイン
-3dB
<input checked="" type="checkbox"/> 0dB

マイクの感度を設定します。

- 選択範囲: -15dB(低)~0dB(中)~9dB(高)
※3dB単位で選択できます。
- ※周囲の騒音が大きい場所では、低い値に設定し、大きめの声で通話することで、通話相手に聞きやすい音声になります。
- また、周囲の雑音が小さい場所では、高い値に設定し、小さめの声で通話することで、通話相手に聞きやすい音声になります。

ユーザーコード (初期設定:チャンネル共通)

ユーザーコード
チャンネル毎
<input checked="" type="checkbox"/> チャンネル共通

通話チャンネル共通のユーザーコードを使用するか、通話チャンネルごとに異なるユーザーコードを使用するかを設定します。

- チャンネル毎 : 通話チャンネルごとに異なるユーザーコードを使用する
- チャンネル共通 : 通話チャンネル共通のユーザーコードを使用する

チャンネル毎ユーザーコード (初期設定:OFF)

チャンネル毎UC	
CH 01	OFF
CH 02	OFF
CH 03	OFF

チャンネルごとのユーザーコードを設定します。

※この項目は、ユーザーコードの設定が「チャンネル毎」の場合だけ表示されます。(P.4-2)

- CHの選択範囲 : CH 01~CH 14、CH 16~CH 82、CH S1~CH S15*
- ※「CH 呼出」は、ユーザーコードを設定できません。
- ★上空用チャンネル(CH S1~CH S15)の設定は、販売店にご依頼ください。
- UCの選択範囲 : OFF、001~511

個別呼出 (初期設定:OFF)

個別呼出
<input checked="" type="checkbox"/> OFF
ON

同じ通話チャンネルを使用する相手のうち、通話したい相手だけを呼び出す機能を設定します。

- OFF : 使用しない
- ON : 使用する

自局番号 (初期設定:個別0001)

自局番号
<input checked="" type="checkbox"/> 個別0001
個別0002

この項目で設定する自局番号で個別呼び出しを受けると着信します。

※[個別呼出]を「ON」に設定したときに表示されます。

- 選択範囲*: 個別0001~個別0245
- ★個別9999まで設定したい場合は、販売店にご依頼ください。

基地局番号 (初期設定:個別0099)

基地局番号
<input checked="" type="checkbox"/> 個別0099
個別0100

個別呼び出しに使用する基地局の個別番号を個別番号設定の内容から設定します。

※[個別呼出]を「ON」に設定したときに表示されます。

- 選択範囲*: 個別0001~個別0245

8-4 ★ 個別9999まで設定したい場合は、販売店にご依頼ください。

8 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

グループ設定 (初期設定:グループ0001)



個別呼び出しに使用するグループの参加/不参加を設定します。

※ [個別呼出]を「ON」に設定したときに表示されます。

- 選択範囲*: グ0001～グ0010
- ★ 選択範囲の変更については、販売店にご依頼ください。

グループを選択して[決定]キーを押すごとに「グループID」、「メンバーとなるグループID」の切り替えができます。

- 「」なし: グループID
このグループ番号の呼び出しは受けません。
(このグループ番号を選択して、呼び出すことはできません。)
 - 「」あり: メンバーとなるグループID
このグループ番号を呼び出すことも、呼び出しを受けることもできます。
- ※「メンバーとなるグループID」選択時、表示部に「」が点灯します。

終話後表示 (初期設定:全体)



通話が終わった(待ち受け状態)とき、表示部の表示をどの状態にするかを設定します。

※ [個別呼出]を「ON」に設定したときに表示されます。

- 通話前表示: 通話前に表示していた内容を、再度表示する
- 通話中表示: 通話中に表示していた内容を、そのまま継続して表示する
- 全体 : 全体呼び出し表示[全体]を表示する
- 基地局 : [基地局番号]で表示された個別番号を表示する
- 個別 : [個別番号]を表示する
- グループ : [グループ番号]を表示する
- 着信履歴 : 着信履歴を表示する
- 発信履歴 : 発信履歴を表示する
- 優先個別 : [優先個別番号]で表示された個別番号を表示する
- ホーム : 通話チャンネルを表示する

優先個別番号 (初期設定:個別0099)



同じ通話チャンネルを使用する相手のうち、通話したい相手だけを呼び出す機能を設定します。

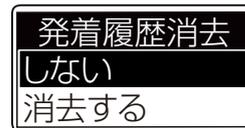
通話が終わった(待ち受け状態)とき、表示部に表示する個別番号を設定します。

- 選択範囲 : 個別0001～個別0245
: グループ0001～グループ0010

※ 選択範囲の変更については、販売店にご依頼ください。

※ [個別呼出]を「ON」に設定し、終話後表示を「優先個別」に設定したときに表示されます。

発着信履歴消去 (初期設定:しない)



自局番号の設定/基地局番号の設定/グループ設定を変更したとき、この機能で発着信履歴を削除してください。

※ [個別呼出]を「ON」に設定したときに表示されます。

- しない : 履歴を削除しない
- 消去する : 履歴を削除する

※「消去する」を選択後、[戻る]キーを押して、ほかの設定項目に移動したときは、発着信履歴を消去しないと認識され、「発着履歴消去」を選択したときの状態に戻ります。

8 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

呼出着信音 (初期設定:OFF)

呼び出しを受けた相手の個別番号、グループ番号ごとに、異なる呼び出し音のパターンを設定します。

※ [ポケットビープ]を「OFF」、および[個別呼出]を「ON」に設定したときに表示されます。

※ 全体呼び出しを受けたときは、呼び出し音が「OFF」以外に設定されていても鳴りません。

- OFF : 使用しない
- 30回 : 「トルルル」と音が30回連続で鳴る
- 3回 : 「トルルル」と音が3回連続で鳴る
- 1分毎 : 「トルルル」と音が3回連続で鳴ったあと、1分ごとに1回鳴る
- 連続 : 「トルルル」と音が3回連続で鳴ったあと、2秒ごとに1回鳴る
- ピー : 「ピー」と音が1回鳴る
- ピピピ : 「ピピピ」と音が1回鳴る
- X0ディ1~9 : 設定した番号のメロディー音が鳴る

【呼び出し音のパターンを変更するには】

- ① [▲]/[▼]キーを繰り返し押し、相手の個別番号、またはグループ番号を選択します。

- 選択範囲:

個別0001~個別0010、
グ0001 ~グ0010

- ② [決定]キーを押します。

- 「OFF」(初期設定値)が表示されます。

- ③ [▲]/[▼]キーを繰り返し押し、呼び出し着信音を選択します。

- ④ [決定]キーを押します。

※ほかの呼び出し音も設定するときは、①~④を繰り返します。



個別番号(選択例)



グループ番号(選択例)



選択した番号の表示



着信音(設定例)

呼出着信音(つづき)

【個別番号、グループ番号を変更するには】

設定されている呼び出し音のパターンに対する個別番号、またはグループ番号を変更するときは、下記の操作で変更できます。

- ① [▲]/[▼]キーを繰り返し押し、変更する個別番号、またはグループ番号を選択します。
- ② [個別番号帳]キーを押します。
- ③ 個別番号を編集するときは、[◀]/[▶]キーを短く押し、編集できる桁に移動し、[▲]/[▼]キーを押して番号を変更します。
グループ番号を編集するときは、[▲]/[▼]キーを押して番号を選択します。
- ④ [決定]キーを押します。

※ほかの番号も設定するときは、①~④を繰り返します。

※例のように、番号が同じ場合は、1番上の行に表示された番号の呼び出し音が鳴ります。



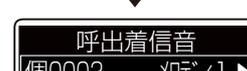
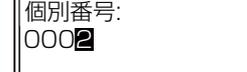
個別番号(選択例)



個別番号編集表示



個別番号(変更例)



個別0002から呼び出しを受けると、「X0ディ1」が鳴るように変更した例



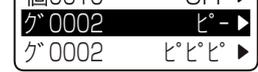
グループ番号(選択例)



グループ番号編集表示



グループ番号(変更例)



グループ0002から呼び出しを受けると、「ピー」と鳴るように変更した例

8 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

P-CH機能 (初期設定:OFF)

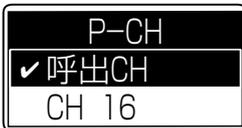


プライベートチャンネル機能を設定します。

- OFF : 使用しない
- ON : 使用する

※「ON」に設定すると、[P] (プログラム)キーによるプライベートチャンネルへの切り替え操作が有効になります。

P-CH (初期設定:呼出CH)



通話チャンネルからプライベートチャンネルにする番号を設定します。

※ [P-CH機能] (プライベートチャンネル機能) を「ON」に設定したときに表示されます。

- 選択範囲: CH 01~CH 14, 呼出CH, CH 16~CH 82, CH S1~CH S15*

★ 上空用チャンネル(CH S1~CH S15)の設定は、販売店にご依頼ください。

Pキー短押し (初期設定:ホーム)



[P] (プログラム)キーを短く押したときの動作を設定します。

Pキー長押し (初期設定:モニター)



[P] (プログラム)キーを長く押したときの動作を設定します。

- 無効 : 動作しない
- P-CHスキャン : プライベートチャンネルスキャンの開始
- M-CHスキャン : メモリーチャンネルスキャンの開始
- E-CHサーチ : 空きチャンネルサーチの開始
- 音声案内 : 通話チャンネル番号の読み上げ
- 周波数表示 : 通話チャンネル番号表示(名称)と周波数表示を切り替える
- P-CH : 通話チャンネル番号表示とプライベートチャンネル番号表示を切り替える
- 拡声器 : 拡声器の動作開始/停止を切り替える
- ホーム : 通話チャンネル表示に戻す
※ コマンドマイク(HM-206)が接続されているとき、無線機本体の表示は、変化しません。
- ツマミ切替 : 無線機本体のツマミの動作(音量/通話チャンネル)を切り替える
- モニター : 押しているあいだだけモニター機能(P.7-1)が動作する([P] (プログラム)キー長押しに対して設定できます。)

※ 「P-CHスキャン」選択時、プライベートチャンネル番号と同じ通話チャンネル番号を選択しているときは、スキャンしません。

※ 「M-CHスキャン」選択時、設定したチャンネルが1件だけの場合、そのチャンネル番号と同じ通話チャンネル番号を選択しているときは、スキャンしません。

8 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

スキャン/サーチCH (初期設定: CH01)

メモリーチャンネルスキャン、または空きチャンネルサーチの対象にする通話チャンネルを設定します。

※ [P] (プログラム) キー短押し、または [P] (プログラム) キー長押しを、「M-CHスキャン」、または「E-CHサーチ」に設定したときに表示されます。

【設定のしかた】

- ① [▲]/[▼] キーを繰り返し押し、スキャン、またはサーチの対象にする通話チャンネル番号を選択します。
 - 選択範囲: CH 01~CH 14、呼出CH、CH 16~CH 82、CH S1~CH S15*

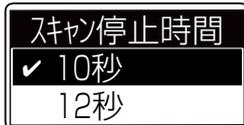


- ② [決定] キーを短く押すごとに、指定と解除が切り替わります。
 - 指定すると、「✓」が点灯します。



★ 上空用チャンネル(CH S1~CH S15)の設定は、販売店にご依頼ください。

スキャン停止時間 (初期設定: 10秒)



電波を受信中、プライベートチャンネルスキャン、またはメモリーチャンネルスキャンを停止する時間を設定します。

※ [P] (プログラム) キー短押し、または [P] (プログラム) キー長押しを、「P-CHスキャン」、または「M-CHスキャン」に設定したときに表示されます。

- 選択範囲: 2秒~20秒(2秒単位)、停止保持

※ 「停止保持」を選択したときは、受信信号がなくなるまで、スキャンを停止します。

※ 受信信号がなくなると、[スキャン再開時間]の設定にしたがって、スキャンを再開します。

スキャン再開時間 (初期設定: 5秒)



スキャン停止時間が経過する前に電波が途切れたとき、スキャンが再開するまでの時間を設定します。

※ [P] (プログラム) キー短押し、または [P] (プログラム) キー長押しを、「P-CHスキャン」、または「M-CHスキャン」に設定したときに表示されます。

- 即時 : すぐにスキャンを再開
- 1秒~5秒 : 設定時間後にスキャンを再開
- 再開しない : スキャン停止時間が経過する前に電波が途切れたとき、スキャンを再開しない

通話後動作 (初期設定: スキャン解除)

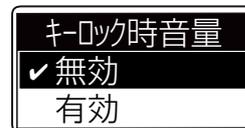


スキャン中、[PTT] (送信) スイッチを操作したときのスキャン動作を設定します。

※ [P] (プログラム) キー短押し、または [P] (プログラム) キー長押しを、「P-CHスキャン」、または「M-CHスキャン」に設定したときに表示されます。

- スキャン再開 : 数秒後、スキャンを再開
- スキャン解除 : スキャンを解除

キーロック時音量 (初期設定: 無効)



ロック機能動作中の音量操作についての設定です。

- 無効 : 音量操作を無効にする
- 有効 : 音量操作を有効にする

【設定変更時のご注意】

ロック機能が「ON」で電源を切り、詳細設定モードに移行して、[キーロック時音量]の設定を変更したときだけ、ロック機能が「OFF」になります。

8 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

スピーカー出力 (初期設定:自動)



外部スピーカーを接続したとき、スピーカーマイク(弊社製)から受信音を出力するかしないかの設定です。

- 自動 :外部スピーカーだけに音を出す
- 全てのSP :外部スピーカーとスピーカーマイクの両方に音を出す
- SPマイクのみ:スピーカーマイクだけに音を出す

【ご注意】

市販の外部スピーカー(ステレオプラグ)を接続すると、外部スピーカーから音が出ないことがあります。

※別売品の外部スピーカー(SP-30、SP-35)をご使用ください。

チャンネル番号音声案内 (初期設定:ON)



通話チャンネル番号を読み上げる機能の設定です。

- OFF :使用しない
- ON :電源を入れたときや、チャンネルを変更したときに、選択されたチャンネル番号を読み上げる

※「呼出CH」(呼出用チャンネル:CH15)選択時は、「呼び出し」と読み上げます。

※上空用チャンネル(CH S1~CH S15)選択時は、チャンネル番号の前に、「上空」を付けて読み上げます。

受信電波強度通知機能 (初期設定:OFF)



受信電波強度通知機能の設定です。

- OFF :通知しない
- ON :通話がつづけられない状態まで受信信号の強度が弱くなると、ピープ音(ピンポン)が鳴る

妨害波アラーム (初期設定:OFF)



妨害波アラームの設定です。

- OFF :使用しない
- ON :使用する

※下記の電波を受信したとき、妨害波とみなして、警告音(ブツ)が鳴ります。

警告音は、妨害波を受信しているあいだ1秒間隔で鳴りつづけます。

◎自局とユーザーコードが異なる電波を受信したとき

◎自局と秘話機能ON/OFFの設定が異なる電波を受信したとき

マイクコントラスト (初期設定:12)



本体コントラスト (初期設定:12)

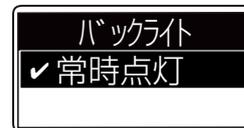


表示部のコントラスト(濃淡)を調整します。

- 選択範囲:0(淡)~25(濃)

※【個別番号帳】キーを長く押すと、初期設定値に戻ります。

バックライト (初期設定:常時点灯)



送信以外の操作をすると、表示部とキーの照明を自動点灯させるかさせないかを設定します。

- 常時消灯 :点灯しない
- 操作時点灯:送信以外の操作をすると、照明が約5秒間点灯する
- 常時点灯 :電源を切るまで消灯しない

8 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

マイク表示輝度 (初期設定:4)



本体表示輝度 (初期設定:4)



表示部と各キーの照明の明るさを設定します。

- 選択範囲: 1~7

録音再生機能 (初期設定:OFF)



自局宛の通話を録音、および再生する機能を設定します。

- OFF : 使用しない
- ON : 使用する

録音履歴消去 (初期設定:しない)



録音された通話履歴を消去します。

※ [録音再生機能]を「ON」に設定したときに表示されます。

- しない : 履歴を削除しない
- 消去する : 履歴を削除する

※「消去する」を選択後、[戻る]キーを押して、ほかの設定項目に移動したときは、録音履歴を消去しないと認識され、「録音履歴消去」を選択したときの状態に戻ります。

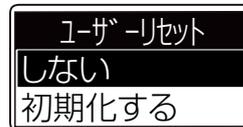
ノイズキャンセル (初期設定:OFF)



送信音声に含まれるノイズ(特に低音域)を軽減する機能を設定します。

- OFF : 使用しない
- ON : 使用する

ユーザーリセット (初期設定:しない)



すべての設定を工場出荷時の状態に戻す(リセット)ときの設定と操作です。

- しない : [決定]キーを押しても、初期化しない
- 初期化する : [決定]キーを押すと、初期化する

※「初期化する」を選択後、[戻る]キーを押して、ほかの設定項目に移動したときは、初期化しないと認識され、「ユーザーリセット」を選択したときの状態に戻ります。

【ご注意】

◎リセット操作をする前に、お買い上げの販売店にご相談ください。

リセットすると、設定内容によっては、設定モードや詳細設定モードで再設定できない内容もリセットされ、お使いの環境で通話できなくなることがあります。

◎設定値がリセットされ再起動するまでの2秒間は、無線機の電源を切らないでください。

※リセットの途中で、エンジンを始動させるなどして、一時的に電源が切れると、故障の原因になることがあります。

下記の操作で、すべての設定が工場出荷時の状態になります。

【操作のしかた】

- ① 設定モードに移行します。
(P.8-1)



設定モード移行直後の表示

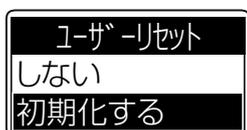
- ② **[▲]/[▼]**キーを繰り返し押し、「ユーザーリセット」を選択します。



ユーザーリセットを選択したとき

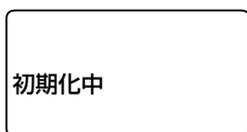
- ③ **[決定]**キーを押します。

- ④ **[▼]**キーを押して、「初期化する」を選択します。



初期化するを選択したとき

- ⑤ **[決定]**キーを押します。
- 「初期化中」と表示され、設定値がリセットされたあと、無線機が再起動します。



【ご注意】

- ◎ リセット操作をする前に、お買い上げの販売店にご相談ください。
リセットすると、設定内容によっては、設定モードや詳細設定モードで再設定できない内容もリセットされ、お使いの環境で通話できなくなることがあります。
- ◎ 設定値がリセットされ再起動するまでの2秒間は、無線機の電源を切らないでください。
※リセットの途中で、エンジンを始動させるなどして、一時的に電源が切れると、故障の原因になることがあります。

How the World Communicates

～コミュニケーションで世界をつなぐ～

